

2013-2014

INTERNATIONAL



ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区報

JAPAN WEST REGION

BULLETIN 第1号 通巻51号 / 2013.8 発行

西日本区理事主題 Attend club meetings with a clear motive to make the most of them.  
「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」

国際会長主題 Go Ye Into All the World. 「全ての世界に出て行こう」

アジア会長主題 Start Future Now. 「未来を始めよう、今すぐに」



志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう

Attend club meetings with a clear motive to make the most of them

2013-2014 西日本区理事 高瀬 稔彦

2013-2014 Regional Director, Japan West Region

Toshihiko Takase

### 折り返し点に立って

私たちの先達は、100年近くに亘り、常にワイズの理想を求め、ワイズ・YMCA運動を広げ、理想実現のためにたゆまぬ努力を重ねてこられました。それはクラブのモットー“強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う”に裏付けられる行為であり、こころから敬意と感謝をいたします。

ワイズの創設は、やはり時代の変調を感じさせる混沌とした時代でした。ですから、私たちは、不景気や世代間ギャップを理由にEとMCの手を緩めるわけにはいかないのです。今、わたしたちは先達の掲げてこられた高い理想を引き継ぎ、時代の変遷・変化とともに「絶対に変えてはいけないもの」と「変えていかなければならないこと」を的確に認識し、行動する時です。今を支えるのは、もちろん私たちの使命ですが、共に働く仲間を増やし、次世紀を支える人を育てていくのもやはり今を生きる私たちの大切な使命です。皆さんの勇気ある行動は、今まさにこの時において他にありません。その勇気ある行動を西日本区は、万全の態勢でバックアップします。

For nearly 100 years our senior Y's Men have been making untiring efforts to seek after the ideal of Y's Men International, expand the movement of YMI and the YMCA, and eventually attain the ideal. Their efforts have been endorsed by our motto of "To acknowledge the duty that accompanies every right" to which I pay due respect and express my deep appreciation.

YMI was founded at the time of chaos which was fraught with uncertainty just like today. Therefore, we cannot afford to ease up on our Extension, Membership and Conservation efforts on the pretext of economic downturn or generation gap. Now is the time to succeed to the lofty ideal of our senior Y's Men and clearly distinguish "what must not be changed" from "what must be changed" as times change, and swing into action. Needless to say, it is a vital mission for us Y'smen who are living now to hold up Y'sdom today, as well as to recruit new members we can work with, and nurture younger members to hold up Y'sdom tomorrow. Your active dedication to YMI is called for right now. Japan West Region is well-prepared to back up your active dedication throughout my term of office as Regional Director of JWR.

#### 1. YMCA Service & Youth Projects

We support the projects implemented by the National Council of YMCAs of Japan and local YMCAs nationwide such as assisting the healthy

## 1.YMCAサービス・ユース事業

日本YMCA同盟と全国のYMCAが実施している青少年の健全育成事業ならびに東日本大震災の被災地(避難住民のケア)支援事業、その他地域社会との事業を支援します。現場における青少年との対話を通じて、双方に学びの機会が設けられることを祈念します。さらにYMCAユースリーダーが卒業後もYMCAと繋がりをもつシステムを日本YMCA同盟と協議し、推進します。

## 2.地域奉仕・環境事業

献金の奨励と共にいかに献金を活用して、西日本区内クラブの地域奉仕・環境事業を活性化させるかに尽力します。また国際やアジアとの協働、東日本大震災被災地支援やロールバックマラリア(RBM)について、情報をお伝えします。さらに私たちは、次世代の子どもたちに恵まれた環境を引き継ぐ使命があります。皆様のご理解のうえ、ご支援、ご協力をよろしく願います。

## 3.EMC事業

『親睦』を意識して、参加した人すべてが、清々しい気持ちになれる例会づくりを演出しましょう。まずビジターや入会者を飲んでお迎えするという視点に立った例会のムードづくりを意識してください。そのうえで、次世代を支えるメンバーをどうやって獲得し、育成するか、部単位で真剣に議論をすすめましょう。

## 4.ファンド事業

献金の意義や用途について、積極的に広報します。ぜひ、ご協力ください。

## 5.交流事業

事業主任が釣書を持ってくるのをじっと待っているだけでは、きっとよい結果に繋がりません。積極的に自らがIBC、DBCの候補を探しに出かけてください。みずから行動するというその一歩が、クラブ活動に躍動感を生み出します。

## 6.広報事業

メンバー間の情報共有と地域社会への発信力の強化をめざしてHPのリニューアルに着手します。ワイズの魅力と活動をより多くの人に紹介しましょう。

## 7.メネット事業

ハンディ(個性)をもった人の表現活動を通じた社会との交流を応援します。皆様の積極的な関わ

development of the youth, supporting the affected areas and the evacuated residents of the Great East Japan Earthquake and other projects jointly carried out with the local communities. I sincerely hope that the dialogue with the youth on the ground will be a good learning opportunity for both Y's men and the youth. In addition we would like to consult with the National Council of YMCAs of Japan to create a system through which YMCA youth leaders will be able to maintain close ties with YMCAs after graduation from their universities.

## 2. Community Service & Environmental Projects

We will make an utmost effort to vitalize the Community Service and Environmental Projects in each club in Japan West Region by making the best use of the contributions collected as well as encouraging them. We will provide you with the updated information about our collaboration on International and Asia Area events and projects, the reconstruction assistance for the affected areas of the Great East Japan Earthquake and RBM. Besides, we have an important mission to hand over the favorable environment to the children in the future. I do hope you will fully understand this and cooperate with us for that cause.

## 3. EMC

Please try to make monthly club meetings a place where all the participants feel refreshed focusing on nurturing "Friendship." Firstly, please be thoughtful of creating a friendly atmosphere to welcome visitors and new members warmly to your monthly meetings. Secondly, please have a serious discussion in each district on how to get and nurture new members who will shoulder Y'sdom tomorrow.

## 4. Funds

We will actively inform you of the purposes of donations and how they are to be used. Your cooperation is greatly appreciated.

## 5. Exchange Programs

Just waiting for the RSD to bring your club the list of prospective brother clubs will not bear fruit. Please go out positively and find a candidate for your international or domestic brother club. Your small but positive step forward will vitalize your club activities.

## 6. Public Relations

We will start renewing our website to share more information among the members and to strongly publicize Y's activities in the local communities. Let's introduce the attractions and activities of Y's Men's Clubs to more people.

## 7. Y's Menettes Programs

As its domestic project we will support the interaction between people with disabilities(conspicuous individualities) and those without in society through

りを期待します。国際事業への献金支援もお願いします。

## 8. 国際・アジアとの協働

西日本区を元気にしようという気持ちで、故成瀬晃三理事はアジア大会を誘致されたと思います。その遺志に応えて、西日本区が一丸となって大会を成功させましょう。また国際の一員として、アジア会長岡野泰和ワイズを輩出した区として、積極的に、国際・アジアと連帯していきましょう。

わたしたちが前向きに行動すれば、試練を与えられたり、試行錯誤があったり、葛藤を味わったり、失敗もあるかもしれませんが、その一歩が成功のはじまりです。同時にわたしたちは理想主義者です。失敗した者を辱めたり、糾弾したりするのではなく、手やこころや声や耳を貸して差しあげ、愛されることよりも愛することができるようにしましょう。わたしたちは、ワイズメンなのであります。

the artistic activities of the former. We hope for your active involvement in the project. Please make a generous donation to the international project as well.

## 8. Collaboration on International and Asia Area events and projects

I'm sure IPRD Kozo Naruse invited the 26th AAC to Japan West Region with the hope of invigorating our region. Let's work as one to make it a success so as to accomplish his will. In addition, let's collaborate on International and Asia Area events and projects more positively not only as a member of YMI but also as a member of the region, which has turned out AP Yasukazu Okano.

The more positively we act, the more challenges, trials and errors, conflicts or failures we might encounter. But this is the very beginning of a success. We must be idealists at the same time. Let's not let down or condemn the loser but extend him or her our hands, hearts, voices and ears.

Let's love our brothers and sisters rather than being loved by them, for we are Y's men.

## 2013～2014 年度西日本区事業目標

YMCAサービス・ユース献金 (国際ASF含む) 1人当たり2,000円	仙台 YMCA 東日本大震災支援対策室 盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンター YMCA 石巻支援センター 各活動支援資金として 2,000,000円 1人あたり 1,200円
地域奉仕活動 (CS献金) 1人当たり1,500円	
TOF (Time of Fast) 断食の時 1人当たり1,200円	EF (Endowment Fund) US\$ 3,000 記念すべき時に献金 PWAF US\$120
FF (Family Fast) 家庭での断食 1人当たり 800円	JWF (Japan West Y's Men's Fund) 400,000円 西日本区ワイズ基金 1口5,000円
BF (Brotherhood Fund) 1人あたり1,400円	E (Extension) 新クラブ設立 + 2クラブ
BF (Brotherhood Fund) 使用済み切手収集	MC (Membership & Conservation) 会員増強と意識高揚 前期末+ 100名
RBM (ロールバックマラリア) 一人当たり 800円	LT (Leadership Training) 次期役員研修、次期会長・主査研修 各1回
YES (Y's Extension Support) ワイズ拡張支援基金 1人あたり180円	R. Bulletin 西日本区報 年3回

\* YES献金(新設)ワイズ新クラブ設立を目指す目的の基金(2012-2013ワイズメンズワールド第1号掲載)。YESプログラムの目的は新クラブ設立を進めるクラブ、会員を支援するためのもの。献金で集められた資金の2/3は、集められたエリアに戻され、エリアの中の区で使われる。



# ご あ い さ つ



## こころ豊かに

次期理事 松本 武彦  
(大阪西)

娘が小学5年生の夏休み、ワイズメンである友人の紹介でYMCAキャンプに初めて参加させました。知り合っ間もない仲間と腕を組み楽しそうにタラップを降りてくる娘の姿、おとなしかった彼女が活発な娘になって帰ってきたことにびっくり。娘はその後、YMCAのプログラムに参加し、YMCA学生リーダーとして大活躍、友達にも恵まれて、頼もしく育ちました。子供が大きく育つ機会を与えるYMCA運動を応援しなくちゃ、と思ったのがワイズメンになったきっかけです。

私は、東日本大震災において心痛む大きな試練を受けたとき、人が生きる上で大きな励ましとなるのは「隣人愛」であることを改めて確認しました。私たち日本人は、そして外国の方たちも、直ちに物心両面の支援を被災地の方々に届け、その後も被災地の方々を励まし続けています。私たちワイズメンも、YMCAを通じて、もしくは直接に、被災地の方々を支援する働きをしています。日本の人々の、そして世界の人々のこの隣人愛が、試練を受けた人々を大きく力づけていると思っています。

去年、若きブータン国王ご夫妻の日本国ご訪問を通じて、ブータンの人々が、幸せとは、お金ではなく、モノでもない、「人間関係、特に家族との関係、隣人との関係における平和、そして豊かな交流」であると思っていることを知りました。この幸福観は、私たち日本人が古くから持っていた幸福観ではあるが、忘れていたかも知れない幸福観です。そして、この「豊かな交流を通じて人間関係を平和にすること」は、また、私たちワイズメンが日ごろの活動を通じて育てている「豊かなこころ」そのものでもあります。

私は、私たちのワイズメンズ活動が、自分自身はもちろん、周りの人たちをも勇気付け励ます大きな働きをしていると確信しています。

次年度は新しい事業部制をスタートさせる年です。今年度、私は、高瀬理事を支え、その理事活動が力強く進むよう働く傍ら、ワイズ事業の進み行く姿を深く理解し、次年度に備えて参る所存であります。



## 新しい時代の幕開け

直前理事 浅岡 徹夫  
(近江八幡)

成瀬理事がお亡くなりになるというあまりにも思いがけない事態に遭遇し、高瀬次期理事が2月から理事代理として西日本区の舵取りを担っていただき、いよいよ7月から本格的に高瀬丸が船出しました。名古屋での西日本区大会で力強く宣誓された高瀬新理事に対するメンバーの期待は大変大きいと思います。高瀬理事を初め、役員メンバーには若手や女性が多く登用され、新しい時代の息吹が強く感じられます。今年から来年に向けて、西日本区の事業主任制度が改変され、国際協会を含めたワイズメンズクラブが変革される時代に登壇する高瀬理事は、若くて明るく前向き・積極的・行動的かつ優しい人柄で、私達のリーダーとして申し分ありません。

本来は成瀬理事が直前理事として高瀬理事を支えていただくところですが、それが叶わない今、不肖浅岡がもう一年直前理事として高瀬理事を支えて行ければと思っています。少なくとも高瀬理事体制の足を引っ張らないよう気を付けたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



## 新しい出会いと学びで V字復活!

書記 益国 隆人  
(広島)

2013-14年度の西日本区書記を拝命いたしました。ワイズ歴は浅く若輩ではございますが、高瀬稔彦西日本区理事とともに、ワイズメンズクラブの未来への懸け橋を創ってまいる所存です。

父がワイズメンであったことから、幼いときより「コメント」としてワイズのクリスマスに連れて行かれたり、YMCAのキャンプに参加したりしていました。塾もYMCA、大学受験で浪人してもYMCA、上京しても夏休みには帰省して広島YMCA予備校の夏合宿のチューターまでさせてもらうほど、まさしくYMCAに育てていただいたと言って過言ではない少年期を過ごしました。しかしながら5年前に父が亡



くなり広島に帰るまでの二十数年間、YMCAとは全くの疎遠となっていました。2009年の春、父の所属していた広島クラブの藤川洋メンから、2010年に広島で開催される第13回西日本区大会の準備を手伝うようお誘いをいただき、それがきっかけとなってワイズメンズクラブに入会することになりました。

入会当初は正直に申し上げてワイズは、おじさんおばさんが月に1回集まってお弁当食べて、YMCAの行事の手伝いを打ち合わせて散会するだけに思え、これはずいぶん面白くないところに入ったもんだ、と思っていました(^^;)。区大会の準備を通じ少しずつ部やクラブのことがわかってきて、各部の部長報告や各事業主任報告のパワーポイントを取りまとめる作業をすることで、西日本区の様々な活動を知ることができました。区大会のあと7月から西日本区ワイズリーダーシップ開発委員(LD委員会)に指名され、そこから2年間、次期役員研修会、次期会長・主査研修会の準備・運営をお手伝いさせていただきました。

以後西日本区内外の多くのワイズメンの皆様に出会い、教わり、励ましていただいて、その間にあの痛ましい東日本大震災もあって、ワイズメンであること、ワイズメンとして自らが尽くせること、他の多くのワイズメンと繋がりを支えあって与えられた役目を果たすことに自覚と責任を持てるまでになりました。

いま、世の中は大きく変化しています。東日本大震災をきっかけに、人々が感じる幸せのかたちは多様化しました。金銭や肩書きの成功を必ずしも求めず、家族や友人との絆を特に大事と考える人が増えたように思います。また、地域奉仕、ボランティア活動にも、機会があったら参加したいという人が増えています。若い人たちの間では、インターネットを使いながら新しい仲間とどんどん出会い、寄付行為や奉仕活動が抵抗なく自然発生的に行われてもいます。

高瀬稔彦西日本区理事の今年の主題は「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましよう。」です。あわせて常に「親睦」を大切にしています。これは、いつも同じクラブメンバーだけのための、サロンのような「親睦」を奨励しているわけではありません。クラブで決めた「志」を、メンバーに押し付ける「学び」でもありません。「常に新たな学びを得るために、新しい出会いに積極的になろう。」と私は解釈しています。新しい出会いは、そのまま初めて出会う人でもいいですし、旧知のメンバーの意外な横顔かも知れません。年齢の離れたゲストを例会に呼んでも何を話していいかわからない、いまのYMCAの若い職員は何を考えているのか、Facebookなんかしたくない、などなど。まあ、そうおっ

しやらず。新しい出会いは常にめんどろで、傷つきそうで、不愉快になる恐ろしさはあります。でもワイズの外にも、若い人たちの中にも、社会を良くしていこう、青少年の健全な成長を支援しようという人がたくさんおられます。その人たちと交流したり、話を聞いたり、例会にお誘いしたりして、新たな「学びの機会」を積極的に得ようとする「志」を持続けていただくことが、いまみなさんのクラブに求められているのです。

私自身が4年前、静かで平和な広島クラブに入って失礼と生意気の限りを尽くしたにもかかわらず、温かく育てていただいたうえ、広島クラブにはその後9名のメンが入会され、その9名からは1名の退会もありません。メネットさんたちもあわせて大人数になった例会はとても賑やかで、いつも新しい学びがあります。すべてのクラブが新しい出会いと学びで活気づくことを目指し、この役目に仕えたいと思います。どうかよろしく願いいたします。



## 「正確、迅速、ベストを 尽くす」をモットーに (G・Bと呼ばないで)

会計 山本 晶子 (広島)

広島市の街に夏の訪れを感じさせる「夾竹桃」の花が咲き始めました。

高瀬稔彦理事キャビネットの事務局要員として初めて岩国の勉強会に参加したのは1年以上前だったでしょうか。

私と西日本区とのかかわりは、2010年に広島で西日本区大会を開催した時からはじまりました。西日本区大会に参加したのも、2009年の熊本大会が最初でした。2009年から2010年にかけて、広島大会のアピールで宮島のしゃもじを打ち鳴らし、へたな「ええじゃん踊り」を踊りながら部会巡りをするうちに、ちらほらと顔見知りのワイズメンが増えていったのを覚えています。

さて、このたび諸般の事由から西日本区会計を拝命することになりました。予算案を作成するにあたり、収入減少、円安、地方都市岩国での区大会開催のための代議員交通費の増加、などなどから、高瀬理事の強い意向でありました。役員会交通費の満額支給は敢え無く頓挫してしまいました。

ワイズメンズクラブに限らず、会費収入で運営する任意団体は、会員数がすべての鍵を握っているといっても過

言ではありません。仲間を増やすことで、ワイズメンズクラブの抱える悩みの半分以上は解決できるのではないかと考えています。

西日本区の会計業務については、まだまだ初心者で未知の世界なのですが、西日本区事務所の献身的な協力無しには進んでいかないと実感しています。また歴代の先輩諸氏がとても面倒見が良く親切に教えてくださり、会合も定期的に開かれ、コミュニケーションも円滑で、いい雰囲気で行われているのでとても心強く、バックアップがある事を期待しています。

高瀬期も引き続いて東日本大震災支援が継続されます。献金目標が達成できますよう、いろいろな場面をお願いをすると存じますが、決して「G.B.」(ごうつく婆の略称)などと陰で呼ばないようにお願いいたします。実は、私自身は家計簿なるものを一度も記入したことが無く、姑が3年目にして家計簿を手渡すのを諦めた不出来な嫁ですが、会計業務の基本を忘れることなく、正確、迅速に業務を遂行できますようにベストを尽くす所存でございますので、暖かいご指導、ご協力をお願いいたします。

来年の今頃は、ニコニコ笑いながら、美味しいお酒を飲むように努力して参りたいと思います。



## いざ立て

— Once more we stand

東日本区理事 渡辺喜代美  
(十勝)

2013～14年度第17期東日本区理事の渡辺喜代美(十勝クラブ)です。「いざ立て Once more we stand」を主題に掲げ一年間活動し、ワイズを楽しみたいと考えています。

世界中の奉仕団体は、私たちワイズメンズクラブに限らず会員減少に頭を悩ませています。当東日本区も昨年3クラブが解散し、現在62クラブ、会員数976名と大変厳しい状況です。

しかしながら、国内で開催されるクラブ例会は、ともに学び、語り、笑いあふれる楽しいひと時であると、すべての会員が体感していると思います。この喜びこそ、ワイズの宝だと考えます。私たちワイズメンズクラブの会員は、理想の高齢者、元気な高齢者、終生現役ワイズとして、年齢を超越した存在として、身近な活動からその輪を世界に広げ、存在意義を示していきたいと考えています。ベテランワイズ

もフレッシュワイズも、ワクワクドキドキ、胸を響かせながらワイズ運動を進めてまいりましょう。

1922年、ポール・ウィリアム・アレキサンダーが米国オハイオ州にワイズメンズクラブ国際協会を設立し、日本では1928年11月に大阪クラブが設立し、1930年12月横浜クラブ、翌年2月に東京クラブがチャーターし、現在に至っています。

国内のワイズメン一人一人が課題に立ち向かい、その役割をはたし、積極的に行動するならば、ワイズメンズクラブはさらに魅力的な素晴らしい組織へと成長し、多くの賛同者を得ることと確信しています。また、私たちは、島田茂日本YMCA同盟総主事のもと「人といのちを育む」活動を展開するYMCAと強く連帯し、地域社会において奉仕活動実践リーダーとして、その存在意義を示すことができると思います。今一度、私たちは、原点に立ち返り、思慮深く更なる前進を続けることが大切です。

2022年ワイズ100周年を世界中のワイズメンと共に祝うため、ワイズメンの力を信じ、ワイズメンの未来を確かなものにするため、今こそ立ち上がり、「西日本区・東日本区の心をついに」魅力あふれるワイズメンズクラブ創造に全力をつくしたいと思います。どうぞ、一年間ご指導ご鞭撻よろしくお祈りいたします。

新しい年度がスタートします。今年度は、ほんの少し気分をかえて、笑顔で集まりましょう。どうぞ、声高らかにワイズソングを歌い、響かせ、次世代に美しいワイズの光を繋いで下さいますようお願い申し上げます。



## 西日本区行政監事を留任 — 2年目に思う事

行政監事 仁科 保雄  
(京都キャピタル)

心に残る一年をと、成瀬晃三理事並びに三役、事業主任、各部部長の皆様が順調に一年の事業を完遂すべく2012年7月に理事ゴールを目指し一斉に事業活動を開始し、西日本区の全域で一丸となって各事業に取り組んでこられました。前半期西日本区役員会におきましても、各部からの事業進行状況を報告され、理事ゴールに対して順当な活動を報告されておりました。各部におかれましてはその部の持つ特徴を十分に生かし、得意分野で事業の完成を目指しておられました。やはり部の力強さは、その部の活動の在り方、そして取り組みの密度の濃さで特徴が

生み出されるものと私たちは判断してまいりました。

成瀬晃三理事が急逝されると云う思いもよらない事態が発生し、私たちには故成瀬理事の掲げられたゴールを完成する事と、念願の夢を実現にする事に私たち役員は一同が心を引き締め、理想を描いておられた理事の夢の一つでありますアジア大会の西日本区開催という事を念頭に、歩みを止めることなく意識をもっていたく事の大切さを、心に留める事から始まりました。その力強さは役員会報告の各事業主体においても私たちにひしひしと伝わってまいりました。

今期は西中国部より高瀬稔彦理事を輩出し、若さあふれる西日本区の運営が開始されました。前期の夢も心に入れての事業が含まれていることは間違いありません。直前理事のたつての希望であった、アジア大会を日本での開催という大きな課題も背負われ、その準備に気遣いが大変な事と思います。すでに開催地も京都市内だと立候補地も決定いただき、ホストクラブも名乗りを上げていただきました。そして不安なく開催が確定されました。この大きな大会を成功に導けるか否かは、西日本区全体の大会成功に向かってメンバー全員の意識高揚で協力と支援が得られるものと期待しています。

また、定款の改正や事業の統合など新しい体制が出来上がっています。しかし、クラブ増強の原点でもあるクラブ新設の話が聞かれないのは誠に残念です。EMC事業の一番大切なクラブのエクステンションを今一度真剣に考えていただくよい時期でもあると思います。ただの仲良しクラブになっていないか、本当に今のままでいいのか、自分のクラブの存在に危機感をもって対処しているのか、私たちを含めこれからクラブの将来のあり方に立ち向かってほしいものです。YMCAへの支援活動、地域への奉仕活動に大きな力を発揮されているクラブはそれなりの努力をされています。如何に人をクラブにお誘いするか、成功し多数のメンバーを増員しているかを、手をこまねくことなく先ずクラブに訪問し、メンバーと話しあい、その中から大きなビジョンを感じる事が出来るのではないのでしょうか。

そういった話し合いがクラブ内だけでなく、部にもおよび西日本区の中、すなわち役員会の中でもこう云った話で盛り上がるような役員会であっても良いのではないかと時折感じさせられます。

それからもう一点、ワイズメンズクラブ国際協会の事も時間を取り、役員会の中でもっと話し合い意見を出し、伝えたい事、不審に思う事は質問事項として問い合わせ、私たちが知っておくことも必要ではないかと思えます。言葉の

点で多くの方がそのまま見聞きしたまま過ごしたりされているのではないかと思います。幸いな事にアジア地域会長に英語に堪能な岡野泰和ワイズがご奉仕されます。こんな良い機会はないと思います。大切なことはクラブを通し部から持ちあげて戴き、ぜひとも国際やアジアにも理解をもっていただきたいと思えます。

以上いろいろと書かせていただきましたが、突発したことで留年する事により、一年目で理解できなかった事が分ってくるものです。私達ワイズメン全体が不安なく活動できる体制を作り出す事がこれからも大いに大切で必要となると確信しています。

皆様のご健勝とワイズダム発展をお祈り申し上げます。



## 財政の健全化とは？

財政監事 鈴木 誠也  
(神戸ポート)

「志を持って例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」高瀬稔彦理事のもと2年目の財政監事を担うことになりました。その任務は『西日本区の財政に関する監査を実施して、年次代議員会に報告すること』と、されています。1年間、皆さまから預る会費や献金が適切に処理され、支出・送金されているかを見守ってまいります。先ずは収入源である会費と献金・募金を決められた通りに送金してください。決められていない緊急募金も突然加わります。本年も東日本大震災復興支援の為の募金は続けられます。更にどんな緊急災害があるか分かりません。

皆さまから集められた浄財は大切に集められ、正確に支出・送金されなければなりません。一つのクラブが退会者を出さないで、一人増やせば100人増えますが、退会者を出せば増えません。健全な財政とは会員を何人にできれば余裕が出てくるのでしょうか？とりあえずは西日本区2000を先ず目指しましょう。無駄な支出は無いはずですが、儉約に努めながら、意味ある必要な活動には惜しみなく支出する勇気を持ちましょう。西日本区役員会や委員会にご奉仕頂いているみなさんの交通費位は100%確保できるようにしたいものです。



## ワイズメンズクラブ国際協会から



西日本区ワイズの皆さんへ

2013-2014 国際会長  
Poul V. Thomsen (デンマーク)



西日本区ワイズの皆さんへ

国際書記長 西村 隆夫  
(東京センテナリアル)

2013年8月9日

親愛なる西日本区のリーダー及び会員の皆様へ

西日本区区報に私からの挨拶文をお送りできますことは誠に光栄なことです。

私のスローガン「エクステンション-エクステンション-エクステンション」については、お聞き及びの事と存じます。この精神に基づいて私は西日本区の皆様に引き続き新入会員を獲得し、新たな地域に新クラブをチャーターしていただくよう奨励したいと思います。高瀬稔彦理事のリーダーシップの下で西日本区が引き続きこの課題に取り組まれますと確信しております。

2014年1月の第4週目に、全てのワイズメンズがグローバル・ワイズメン促進週間に参加していただく様お願い申し上げます。この促進週間の目的はワイズメンズクラブとYMCAの事業を促進し、地域社会における我々の認知度を高め、より多くの会員を獲得する事です。同時にこの促進週間は、地域にある他のNGOとのより緊密なネットワークと重要なパートナーシップを築く機会も提供してくれることでしょう。

グローバル・ワイズメン促進週間と私の2013/14年度国際会長としての任期を通して西日本区の皆様からご支援が頂けることを期待しております。

敬具

Poul V. Thomsen  
2013-2014 年度国際会長

昨年度は成瀬晃三理事のマレーシアでのアジア議会から帰国してすぐの急逝という予期せぬ事態がありましたが、高瀬稔彦次期理事をはじめ区事務所、理事事務局のご努力下、先月名古屋で開催の西日本区大会でその成果を発表され、その勢いで高瀬理事が本年度、役員、事業主任たちとチーム一丸でまいしんされる事を確信しております。台北での次期理事研修会でも高瀬理事と東日本区の渡辺理事がエクステンションに対する積極的な理解を示していただき、ポール・トムセン国際会長も大いに期待しております。また元アジア会長のタイのウィチャン氏が国際エクステンション事業主任で、アジア事業主任は山田公平APAY総主事がワイズメンとしてご奉仕をいただきますので、まさに今期は2022年に向けての日本変革の為にも、アジア内での拡張の好機であると思っております。

“志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。”の高瀬理事の主題はワイズメンの義務でもあり、権利でもあります。是非、新しい人材の勧誘の時には国際での事業など、たんなる友好クラブでない、YMCAとともに国際につながる国際奉仕クラブである事をアピールしていただければと思います。

国連のミレニアム開発事業に関連して、国際赤十字社との協働のRBM、マラリア撲滅運動などワイズを理解していただく上でも恰好の学びの一つだと思います。藤井寛敏元国際会長が踏み出した大きな変革への一歩は、その後のノールウェイのフィン国際会長に国際議会の改革を決定し、2015年度からは21名の議員から15名に削減され、より効率のよい国際議会をめざします。画期的なのはその15名の内2名はヤングメンバー議員(26歳から39歳)が参画します。アジアも2015年実施から数年後にはノミネーションの機会がでてきます。今からユースや、若いメンバーの中で将来の国際で活躍できる人材を送りだせるように日本のワイズに大きな期待をしております。

## 日本 YMCA 同盟から



### ユースに希望を!—ワイズとYMCAとの強い連帯で

日本YMCA同盟総主事 島田 茂  
(東京サンライズ)

日本YMCA同盟は、全国35の都市YMCAと35の大学YMCAで構成されていますが、毎年6月中旬に加盟YMCAから選出された同盟代議員(2012年度までは同盟委員)が出席し、総会にあたる同盟協議会が開催されます。日本YMCA同盟は2012年4月に公益財団法人として認定され、これまで同盟委員会として開催されていた総会は、2012年度は第121回同盟委員会及び第1回同盟協議会として同時開催されました。今年は6月15日～16日に第2回日本YMCA同盟協議会が開催されました。今回は、公益財団法人移行後新たに加盟YMCAから選出された代議員による最初の協議会となり、都市YMCAは、選出された代議員の内三分の一は18歳～35歳までのユース世代となりました。今回の協議会では、事前にオリエンテーションを行い、従来の同盟委員会から同盟協議会に変わる変更点、協議に参画する方法などを事前に研修をしました。また、世界YMCA同盟総主事ヨハン・エルトビック氏を招き、ユースを運動の中心に据える「ユース・エンパワメント」を目標とした世界YMCAの戦略や方向性に対する共通理解を深めました。限られた時間のなかではありましたが、若い代議員の積極的な「参画」もあり、日本YMCA同盟方針・計画に則り、全国のYMCAとして取り組むべき方向性を決議することができました。

今回は、初めての内容での協議会となりましたが、都市YMCAと学生YMCAで全国YMCA運動としての一体感を持つことができた画期的な協議会となりました。若い代議員の方々からは、世界YMCA運動へのつながりの実感を持つことができ、都市YMCA・学生YMCA間の交流やYMCA理解の機会となったという感想を寄せられました。ワイズメンズクラブからも理事にゲストとしてご参加いただき感謝です。

全国のYMCAでは、リーダーシップの高齢化が進み、役員員の平均年齢は、2011年度では全国役員740名の平均年齢が64.4歳、うち女性94名(12.7%)、ユース5名

(0.6%)という実態でした。2012年4月から施行された日本YMCA同盟規則改革によって、各加盟YMCAのユース世代の参画が進み、より若者のニーズをとらえた活動が拡大することを願っています。そのためにも、各加盟YMCAのユースリーダーシップ育成のために、引き続きワイズメンズクラブのご支援をお願いいたします。

新しいYMCAに関するトピックスとしては、約20年間鹿児島ワイズメンズクラブが設立を準備してこられた鹿児島YMCAが、2009年度にYMCA名称使用を承認され加盟申請し、今年日本YMCA同盟の機関決定を経て、準加盟YMCAとして日本YMCA同盟の構成YMCAとなることが承認されました。この1～2年で正規加盟に向けて、最終的なガバナンスの整備と存続可能な事業基盤の強化を日本YMCA同盟と熊本YMCAで支援することとなりました。現在会員数は総会構成員51名、理事長(代表理事)は日本バプテスト連盟伊集院教会牧師麦野賦氏、議長は徳田穰氏(前鹿児島県教育長)、副議長は鹿島友義氏(鹿児島市医師会長)。職員は新内博之氏を始め非常勤のスタッフとボランティアリーダーが運営にわたり、体操教室約30名、チアダンス95名、こども園10名などの通常活動及び海岸清掃・チャリティランなどのボランティア活動を行っています。ぜひ、新たに生まれたYMCAの上に、引き続きワイズメンズクラブメンバーのお祈りとご支援をお願いいたします。

最後に、新たな一年間も高瀬稔彦西日本区理事を中心とする新キャビネットのリーダーシップのもと、ワイズとYMCAとの強い連帯によって、全国YMCAのユースリーダーシップの育成と東日本大震災で被災した人々と寄り添う復興を担っていきたいと思います。ぜひ強力なご協力をよろしく願います。



### YMCAのストーリーを見つける

日本YMCA同盟連絡主事 山根 一毅  
(東京北)

昨年度に続き、新たな年度も区連絡主事を務めさせていただきます。宜しくお願いいたします。

私の手元には、毎月各クラブからのプリテンが届きま

す。その内容に見ることができるワイズメンズクラブの活動は実に多岐にわたります。メンバーのみなさんが多様な才能や社会との繋がりをお持ちであることが、それを可能にしているのだと思いますが、同時に「Joy of Giving = 奉仕の喜び」をみなさんが感じておられ、ワイズメンズクラブがその喜びを創り出す場であることを共通の認識とされておられるからだだと思います。実はこの「Joy of Giving」という言葉を私が初めて知ったのは、今年7月の前半に北米のYMCAから募金活動の専門のスタッフを日本に招いて行われたリソース・モビリゼーション・ワークショップという講習会でのことでした。そしてこの言葉の先に実は、「Joy of Asking」という大切な言葉があることも知りました。つまり「誰かに奉仕を頼むことの喜び」ということです。募金活動におけるAskingとは、その募金を呼びかける役割や、実際に募金をしていただくことを誰かに頼むということ。ワイズメンズクラブであれば、一人でも多くメンバーを増やし、奉仕の喜びを伝えることであろうと思います。

さてブリテンの話に戻しますが、私は届いたブリテンに目を通す時に「どんなYMCAの話題が書かれているだろうか?」ということに気を配るようにしています。もちろん連絡主事によるYMCA報告はかならず載っていますが、それ以外にクラブとして、メンバーとして、YMCAとの関わりをどのように持っておられるのか、そのことが気になります。一番目に入るのは、なんと言ってもリーダーの話題です。YYYフォーラムでのリーダー達との交わりや、卒業時の祝会の実施、そして例会への招待など。それに加えてチャリティランやバザーなどへのイベントでの奉仕、そして国際や地域のプログラムなどへの支援や例会での報告会などが話題に上っています。また、時期や地域、クラブによって話題の数や種類などにも違いがあることにも気づきます。

先ほどのリソース・モビリゼーション・ワークショップでは、「Asking」に必要な最強のツールは人々の心を惹きつけるYMCAのストーリー、すなわちYMCAに出会うことで豊かな時間を与えられた人々のストーリー、そんなYMCAを愛してやまない人々のストーリーである、と教わりました。とあるクラブの今年の4月号のブリテンにクラブ会長が卒業リーダー祝会に参加された感想を書かれていました。(卒業リーダーのスピーチを聴き)「彼らの言葉からは驚くことに「感謝」の思いが次々出てきました。(中略) ついついボランティアを「やってあげてる」思ってしまうのですが、はるかに「やってあげてる」はずの彼らは、活動を続けてこれたのは「仲間、YMCAの職員、子供たち、そしてワイズのおかげ」と言います。そんな彼らの熱いスピーチを聞かせてもらい、日本にもすばらしい若者がいることをうれしく思い、今後の活躍を願わずにはおれませんでした。」このストーリーは、きっと多くの人々にとってYMCAと共にユースを支援する原動力となり、あらたなメンバーをワイズメンズクラブに招き入れるためのストーリーになると思います。クラブとして、そしてメンバーとして、YMCAのストーリーを持っておられますか。また、YMCAはそのための機会を提供できていますか。YMCAを愛することのできる、そんな機会に出会っておられますか。私はYMCAのスタッフとして、そのようなストーリーを全国のYMCAにたくさん見つけることができると胸を張って言えます。これからの1年、各地のYMCAとワイズメンズクラブでストーリーを共有できるような機会がもっと生まれるよう、連絡主事としても関わっていきたくと思っています。そして既にストーリーをお持ちの方は、ぜひそれを多くの方に共有していただき、YMCAのファンと支援者を増やしてください。お願いいたします。



# 事業主任の方針



## YMCAサービス・ユース 事業主任としての誓い

Yサ・ユース事業主任 正野 忠之  
(大阪河内)

西日本区の役員会は、正面に区理事、書記および役員の方々の席があり、向かって左側が各部の部長グループ、右側に主任グループが座ります。私は前年度、その左側の席で阪和部の部長として全4回の役員会に出席していました。各事業主任からの情報を聞く立場。7名の事業主任が話すことを聞くことに懸命でした。今期は右側、主任グループ席からの参加となります。すでに最初の役員会を終え、出席するという意味では変わらぬ光景ですが、まったく違う立場での関わり方となりました。この1年は高瀬稔彦西日本区理事の事業方針を元に、YMCAサービス・ユース事業を部長の皆さまに伝えることが使命となります。聞く側から伝える側へ。直前に部長をした経験を、部長の気持ちがわかる事業主任として、役員会に、そして日々の活動に活かしていきたいと思えます。

YMCAサービス・ユース事業(以降Yサ・ユース事業)はワイズ活動の根幹です。YMCAをサポートするサービスクラブとしてワイズメンズクラブが存在する以上、YMCAとワイズメンズクラブがしっかりとした関係を維持できこそ、EMCや地域奉仕・環境、その他事業が成り立つと私は思っています。しかしながら、この関係やサポートの仕方、ユース支援の方法などは一様ではありません。すべての部、クラブによって異なると言っても間違いでないと思います。Yサ・ユース事業主任として、そのことを絶えず頭から切り離さないようにして活動を行っていく所存です。Yサ・ユース事業は区からの資金と皆さまからのYサ・ユース献金で成り立っています。この献金は地域奉仕・環境事業と異なり、その年で集め、その年で用途を決め使うことが原則です。皆さまから献金をいただいて初めて、ユースコンボケーションへ若者を派遣できたり、地域におけるYサ・ユース事業へ支援したりできるのです。集めないことには使えない…そのことをご理解いただけるように務め、お一人2000円の献金目標をできるだけ早く達成していきたいと思えます。

また今期は、ユースリーダー支援を事業方針の中で明

確にしています。YMCAの最大の理解者であるユースリーダーを支援することがYMCAサービスにつながると確信しているからです。そして、卒業後のYMCA、ワイズメンズクラブとのつながりを考えていきます。皆さんは全国で年間何人のユースリーダーが卒Yしていくかご存じですか? 約1000人だそうです。在Y時にはYMCAを通じてワイズメンズクラブと関わり、卒YしてもYMCAとつながり、そしてワイズメンズクラブとのつながりを考えていくことは、古くからの課題であり、これまで何度も試されてきました。まさに試行錯誤の繰り返し、悩みの種です。これについては、高瀬稔彦西日本区理事も方針を明確に打ち出しています。いつの日か、ユースリーダーが卒業した後もYMCAと関わり、ワイズとともに活動することが普通になることを実現していきませんか。そのために皆さんのご意見や経験を聞かせてください。

この1年間、部会やYYフォーラムに限らず、必要であればどこへでも出かけていきます。クラブ例会や部の評議会等でYサ・ユース事業のイベントを組んでください。正野は大阪だから遠いしなあと言わず、呼んでください。一緒にYMCAサービスとユース支援を語り、育てていきましょう。



## 3つのT

地域奉仕・環境事業主任

生雲 文枝  
(大阪なかのしま)

事業主題 互いを知って共に進もう!

はじめに

大阪なかのしまクラブのチャーターメンバーであり、メンバーの心の支えであったオードリー・ギルグさんがアメリカに帰国されて、もう2年以上になります。今、私はギルグさんが帰国される前に言われていた言葉を思い出しています。“ボランティアとは3つのTを捧げること”

3つのT、すなわち1つ目は Time(時間)、2つ目は Treasure (金銭)、3つ目は Talent(才能)、この3つを捧げる、TreasureとTalentはともかくTimeは会社員の私にとって、今期どれだけTime(時間)を捧げるこ

とが出来るかが、最大の課題だと思っています。

### 今期の主題

私は地域奉仕・環境事業主任をお引き受けするにあたって今期の主題を何にするか、とても悩みました。いろいろ考え、高瀬稔彦理事と相談の結果、皆さんに自分のクラブの地域奉仕事業をアピールしてもらい、お互いに協力し合いましょうという方針になりました。

部会や西日本区大会で“わたしのクラブの地域奉仕”を積極的にアピールしていただき、区全体で共有し、協力し合いましょうというのが大きな目標です。

メンバー数も伸び悩んでいる今、お互いを知って協力し合うことがクラブの活性化をはかることにもなるのではないのでしょうか。又、CS・TOF・FF・RBMの事業をよりよく理解していただくことも今期の目標としています。CS・FFに關しましてはどんどん申請していただき、出来るだけ資金援助をしたいと高瀬稔彦理事はおっしゃっています。

そして、RBM(ロールバックマラリア)、このプロジェクトは国連で進めているMDGs(国連ミレニアム開発目標)、目標6:HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止に対応しています。ワイズメンズクラブ国際協会では2010～2015年の間に65,000個のマラリアキット(蚊帳、免疫剤等のセット)を購入し、配布するために50万スイスフランを集めることを目標にしています。

先期、笠井俊明地域奉仕・環境事業主任は蚊帳を各部会に持参し、マラリア撲滅を訴えられました。4年目に入る今期も引き続き、ロールバックマラリアのアピールを行っていきたいと思っています。

環境事業は各クラブのさまざまな環境事業への取り組みを積極的に応援していきたいと考えています。

### 最後に

今期、私がめざしていることは“わかりやすく、伝える”ということです。皆様にわかりやすく、事業方針をアピールして、今、アメリカにいらっしゃるギルグさんの、“3つのT”を捧げることを自分なりに努力してみたいと思っています。

皆様、どうぞご協力よろしくお願い致します。



## 楽しいクラブに人は集まる

EMC 事業主任 為国 光俊  
(京都パレス)

### 最初に

YMCAやワイズメンズクラブを知らない方に、皆さんはどのようにワイズのことを説明されるのでしょうか。国際的な奉仕団体? それとも国際友好団体? 異業種交流会? その他にもあるかもしれません。

その説明は、クラブ内のメンバーの皆さんが答えても同じようになるのでしょうか。ちなみにクラブ歴の浅いメンバーは、ワイズをどのように理解しているのでしょうか

他方、ワイズに入会される方にとっては、入会に至った理由があるはずで。たとえば、奉仕活動をしたかったからとか、メンバーに友人がいたから、なかには無理矢理誘われて断り切れず、といった場合もあるかもしれません。入会理由はいずれにしても、入会者にとっては大切な時間とお金を使うわけですから、自分が入会したら、このようにクラブライフを楽しみたいとか、将来はこうなりたいとかといったような、イメージを描かれていると思います。

### ワイズの魅力

では、なぜワイズメンズクラブに在籍して奉仕活動を行っているのでしょうか。YMCAへの奉仕や地域奉仕、環境への活動と、さまざまな事業をすることが大切な理由の一つであることは間違いありません。ただ、私たちが一生懸命に活動するのは、そのためだけでないはずで。奉仕活動を通じてメンバー同士が交流するなかで培われるもの、つまり、自らの心を高めて「良質の社会人」に自分を変えていく素晴らしい作用があるからだと思っています。

それは、たとえば、自分に向かないと思っていた役割を与えられた時にでも、チャレンジして成果をあげていく心。議論が白熱して意見の相違があったときにでも、相手を認め自分も反省する素直な心。事業の成功に喜びを感じ、感動をする心を持つこと。常に新しい目標を見つけて入会したときの初心に戻り、メンバーと共に汗をかいていく前向きな心。既成の概念や慣習にとらわれずに、つねに自由な発想をもって創造していく心。などではないでしょうか。

### 心を磨く

奉仕活動をおこなうなかで、「そこに関わるメンバーの

心に触れて交流がはじまり、共に心を磨いて成長して、人間性を高めるためにワイズメンズクラブがある」と私は考えています。それには必要なことが2つあります。ひとつは、親睦です。親睦というとお酒の席のイメージがありますが、それだけではありません。共通の趣味や話題を通じて素直な心で忌憚ない意見を言い合える信頼関係を築いていくということです。親睦のなかで得られたエネルギーは友情を生み、強い団結力に繋がって自分に勇気を与えてくれます。もうひとつの重要なことは、自分と違う考えや価値観をもっている人を多くメンバーに迎えることです。価値観の違うメンバーと切磋琢磨することで視野が広がり、自分の考えや行動に変化がおきて、自分の生き方が変わっていきます。もし、ワイズに入会しなかったら今の自分はようになっていたのだろうか、と思います。

### 今の若者は？

統計や資料によると、震災以降はボランティア活動に対する意識は高まりつつあるものの、ワイズやロータリーなどの団体に所属して活動するまでには意識は至ってないようで、経済事情も会員数減少の大きな要因になっています。特に若い世代の人たちは、時間的制約や金銭的制約もあって、有償となる団体に所属することにアタマから自分にそぐわないと判断し、いわばバリアを張っている状況をつくっています。よって、このバリアから誘い出し、魅力をわかってもらうためのシナリオづくりが必要なのです。

今の若者は、人間関係が希薄になって、メリット・デメリットを優先して行動していると言われていますが本当にそうなのでしょうか。入会候補者を例会に誘っただけで、納得のいく説明もできないまま、また、質問や疑問に対して明確に答えを出せないようでは、入会に繋がりませんが、クラブ全体で温かく受け入れて、会話が弾んだ、心が元気になった、また会いたい、楽しかった、と思える心のやり取りのある例会が運営され、ワイズの魅力をしっかりと伝えられるオリエンテーションがあれば、可能性は大きく変わりますし、若者達は、ワイズに入会することで自分の成長や未来を描くことができるのです。

### ビジョンを持つ

クラブ内で、自クラブの5年後、10年後の未来について考えてください。そして、自クラブの魅力強みは何なのか、全員で議論をしてください。もし、魅力・強みが見えないようでしたら今から作っていきましょう！

いつも前向きに、違う個性を大切に、思いやりやさしさを持ち、素直に感謝し、目標を持って自らの心を高めていきましょう。

クラブビジョンは、自クラブの大きな財産です。心を磨くようにビジョンにも磨きをかけて、会員増強へ繋げていただければと思います。今期1年間よろしくお願ひ申し上げます。



## あなたもわたしも 世界の一人

ファンド事業主任 長壽 和子  
(岡山)

事業主題 ファンド事業に取り組むことで、国際協会の一員であることを認識しよう

### 〈はじめに〉

「ファンド事業に真剣に取り組むことで、国際協会の一員であることを認識しよう。」これは、私の事業主題です。また、事業方針のなかにも「国際協会の一員であることを意識し…」と言うことばを使わせていただきました。私たちワイズメンは日頃、世界とか国際とか気にすることなくそれぞれの立場で活動し、それぞれのクラブが地域社会において奉仕活動に取り組んでいます。しかし、ファンド事業はワイズメンズ運動を支えるとても重要な事業であり、世界につながる事業だと感じています。

### 〈ファンド事業は〉

ファンド事業は、BF(ブラザーフッド・ファンド)、EF(エンダウメント・ファンド 国際信託基金)、JWF(西日本区ワイズ基金)の3つのファンド事業からなり、それぞれのクラブやメンバー個人の慶び、思い出、記念としてお寄せいただいた献金は国際(EF)へ、西日本区(JWF)へと送られています。また、使用済み切手の収集を原点とするBF事業は名実ともに世界中のワイズをつなぐ大きな役割を担っています。切手は世界共通であり、切手を切り取りながらインドでも中国でもアメリカでも…どこかで同じように切手を切り取っているのではないだろうかと思いを巡らせるのも楽しいではないですか。そして、私たちの代表をBF代表として海外に送り出すこと、海外からBF代表をお招きして直接交流をもつことは私たちがまさに世界に直接つながることであり、メンバーの皆様が献金して下さるこのファンドは世界中のワイズの兄弟姉妹たちがつながりあうためにはかかせないものなのです。メンバーひとりひとりが国際のなかにおいて世界の一人であることを強く感じていただきたいものです。

### 〈目標達成のために〉

ファンドの意義や重要性をみなさまにしっかり理解してい



ただることが大切だと思います。そのためには各部会におじゃまさせていただいたり、ファンド事業通信を発行し意識や情報を共有することで年間目標達成を目指します。

昨年度は皆様のご協力によりBF献金ゼロのクラブがありませんでした。今年度も使用済み切手の収集にご協力いただき部を通じて送付いただくことでBF献金ゼロクラブを出すことなく、現金を合わせてのBF目標を達成したいと思います。

〈最後に〉

使用済み切手収集から自分が世界の一人であることを感じ国際交流を楽しみましょう。

EF・JWFへの献金をお寄せいただきますようお願い申し上げます。世界のワイズが強くつながりあい、ファンド事業が益々発展し、より一層大きな働きができますよう皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 繋がれば仲間は増える

交流事業主任 上村 眞智子  
(熊本ジェーンズ)

私の大好きな歌、それは、例会の初めに歌うワイズソング「いざたて」。特に交流の真髄を歌った歌詞のある2番の一節を歌う時、自然と力が入っているのを覚えます。

「♪歌えば 心ひとつに ともがき ひろがり行き  
遠きも近きも皆 捧げて立つやワイズメン♪」

「笑顔で言葉を交わして交わりを深めていけば、ワイズメンとして互いの心が繋がりを、新しい友を得る。友を得たその喜びを誰かに伝える事で、又新しい喜びを得る事が出来る。そして、いつの間にか国内外に、『誰かの為に奉仕する喜びの心』を同じくする多くの友を得たことに感謝し、人生が更に豊かになって行く」と歌っていると私は感じています。

### \*交流ステップ1\*

交わりを深めること、まさにそれこそが“交流”先ずは、自分のクラブメンバーとしっかりと交わりを持って下さい。例会では、みんなに声を掛け、互いの健康を、活躍を喜び合ひましょう。そのためには、ドライバー委員会の皆様方のご協力が大切なポイントになってきます。交流委員会の皆様方と協働して、素晴らしい例会運営をお願い致します。

そして、1年に最低一人とは言わず何人でも、友人を例会に誘いましょう。クラブのメンバーが心から歓迎し、交流の時を持てば、入会に繋げることが出来ると思えます。

### \*交流ステップ2\*

新しい仲間と繋がる喜びを味わう為にも、積極的な他クラブ訪問をお願い致します。きっと、自分のクラブには無い魅力発見や同じ価値観で語り合える素晴らしいワイズを得ることが出来るはずですよ。「今度は、私達のクラブへどうぞお越し下さい。」と声を掛け、ワイズの『輪』が広がって行くように努めて頂けたら幸いです。

### \*交流ステップ3\*

次は、自分の所属する部会から、積極的に他の部会へ参加しましょう。私は、昨年、京都部会に参加致しましたが、土派手なパフォーマンスに度肝を抜かれました。否、あれは部会ではなく区大会と言っても良いぐらいのスケールでした。そして、京都部のエネルギーの大きさをひしひしと感じて帰って参りました。

それぞれの地域の特色を生かした部会や西日本区のワイズメンが一堂に会する西日本区大会で交流した事をきっかけに繋がった小さな『輪』がDBCと言う大きな『輪』に育って行ったら素晴らしいとは思われませんか？

### \*交流ステップ4\*

西日本区を飛び出した交流を積極的に行って頂けたらこんなに嬉しい事はありません。旅行で、仕事で、或いは、同窓会で、知り合いのワイズが住む町に行く事になり、当然、その町にクラブがあり、偶然にも例会の日時が滞在時期と重なり、時間に余裕があったら、皆さんはどうなさいますか？

さー、知り合いのワイズに連絡しましょう「今度、あなたのクラブの例会に友人を連れて参加したいのですが、ご都合は如何ですか？」と。

偶然の為せる業が新しいワイズメン誕生に繋がる可能性、ゼロではないと思います。

### \*交流ステップ5\*

区を飛び出せば、そこは、アジア。そして、世界。アジア大会、世界大会での交流がIBC 締結クラブ発見に繋がる事も夢ではありません。又、IBCと言う大きな『輪』ではなくとも、自らが動く事で何か素敵な事が始まることもあります。

私事ではありますが、2011年の台湾でのアジア大会に参加した時のことです。大会会場で偶然隣になった素敵なお夫婦と会話を交わしました。

「どちらからお越しですか？」と尋ねると、「千葉からです。千葉クラブのメンバーです。」

この会話をきっかけに、一人のワイズメンが千葉クラブに誕生しました。ワイズメンにしたいなーと思っていた千葉に住む私の弟を青木一芳ワイズが入会させて下さったのです。青木ワイズとの繋がりは神様のお導きと深く感謝しています。

## \*交流ステップ6\*

各クラブには20代からご高齢のワイズまで幅広い年齢層のワイズメンと共に、コメント、マゴメント、そして、各クラブの活動に参加したユースと言う素晴らしい可能性を秘めた若者が存在する事を忘れてはなりません。

彼らは日本を、世界を支えてくれる素晴らしい存在です。彼らに、世界を見せ、その地で呼吸し、思考する経験を可能にする YEEP,STEP 事業へ、どうぞ深い関心をお寄せ下さいませ。

各クラブ、部、区、そして地域を訪れながら、2014年6月、無事、岩国での西日本区大会迄、多くのワイズメンとの素晴らしい交流を力にして、DBC,IBC,YEEP,STEP の花が咲き誇る1年となりますよう、精一杯頑張ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 情報を共有し、 人のつながりを強めよう!

広報事業主任 加藤 信一  
(京都トッパス)

### 事業主題

『内外の人に広く情報を伝えよう、人とのつながりを強めよう』

広報の役割としては、「組織内外の人に広く情報を伝えること」と「人とのつながりを強めること」があります。内外の人に広く伝えるには今の時代は、インターネットまたは、フェイスブック等のツールがあります。事業方針にも挙げていますが西日本区ホームページの充実をはかるためにリニューアルをし、外部発信を強化してメンバーやメンバー以外のより多くの方に見てもらえるホームページを目指します。又、メンバー間の情報共有の場と広報媒体の充実を図るためにフェイスブックの活用を促進いたします。

今期は、下記の事業方針・事業計画を挙げさせていただきました。

### 事業方針

- ・地域社会に広報することにより知名度の向上を図る。
- ・情報委員会と協働し、西日本区ホームページの充実(外部発信強化)を図る。
- ・会員同士や隣人への広報媒体の充実のため、フェイスブックの活用を促進する。

### 事業計画

- ・クラブ活動等を地域メディア・マスコミ等にニュースとして

取り上げてもらう。

実績を広報事業主査・部長を通して、広報事業主任に情報を提供していただく。

・ワイズデーの実施・広報(他の事業との連携)

・西日本区ホームページをリニューアル

・会員同士や他の友人等の情報共有ができる広報媒体の充実のために、各部・各クラブのフェイスブック活用を促進する。

・次期広報・情報委員会との協働

今期で広報事業主任がなくなり、常置委員会にある情報委員会と統合され広報情報委員会に新しく変わります。この1年間で情報委員会との協働にて次期への新体制に持っていけるよう皆様のご協力・ご指導を賜りたくお願い申し上げます。



## 感動をわかちあいましょう!

メネット事業主任 谷本 久美子  
(東広島)

ワイズメン、ワイズメネットの皆様こんにちは!今期メネット事業主任を仰せつかりました谷本久美子と申します。私は熊本市内で生まれ、中学入学時に両親の故郷である広島県東広島市に転居し、それから結婚後もずっと東広島市に住んでいます。九州部、特に熊本の方にお会いすると、親しみを持って接していただき、故郷に帰った気持ちになります。また独身時代3年間広島 YMCA に勤務しておりましたので、ワイズを通じて再度 YMCA と関わることができてうれしく思っています。主人がワイズに入って18年、その間メネットとして一緒に沢山の大会に参加しました。そして沢山の友人が出来ました。先日名古屋で開催された西日本区大会でも多くの友人に再会しました。私が主任をするということで、「頑張ってるね!応援しているよ。」と声をかけてくださり、本当にありがたく心強く思いました。

ワイズメンズクラブの楽しさは何だろうと考えた時、私は「感動をわかちあうこと」ではないかと思いました。メン、メネットが共に催しの準備に汗を流し、共に販売し、共に食し、共に歌い、共に踊る。講演に耳を傾け、共に涙し、共に感動する。そのような協同の体験、経験が共有の財産となって次へ進む活力となるような気がします。

そこでメネット事業主任の私の事業主題を「メネットパワーを結集し、感動をわかちあいましょう!」としました。

## 国内プロジェクト

今期の国内プロジェクトは「障がいのある方が描いた個性あふれるアート作品(絵画)に触れ、作者とご家族、関係者のお話を聞く催しを各部で開催し、障がいのある方々の創造性や可能性についての理解を深める」としました。そして各部で障がい者アートの催しを開催した集大成として、来年6月に岩国で開催される第17回西日本区大会で各部から2~3点ずつの作品を集め展示し、大会参加者全員に見ていただくことにしています。

今年3月の次期会長・主査研修会で今期主査をされる皆様にこの国内プロジェクトを発表しましたが、主査の皆様が国内プロジェクトの主旨を理解し、とても前向きにとらえてくださり、多くの部で様々な障がい者アートの催しが計画されつつあります。障がいのある方の作品からは何の打算もないストレートな感情が伝わってきます。強いエネルギーを感じます。これらの催しにはメネットの皆様だけでなく、メンの方々にも一緒に関わっていただき、作品を見て、お話を聞いて、そして感動をわかちあっていただきたいと思ひます!

## 国際プロジェクト

HIV-AIDS 啓発センター(インド・ケララ)(2012年からの2年間継続事業)

(農村地域の HIV/AIDS 患者の子供たちの教育、医療ケアとサポート)これはメネットの国際投票で決定したものです。

献金へご協力をお願いします!

今年度は部会、メネットアワーではメネット献金を行わず、

振込用紙による献金のみとしました。前述の各部での「障がい者アートの催し」の費用(各部最大10万円)や西日本区大会での絵画展示費用はすべて振込用紙による献金が頼りになりますので、振込用紙での献金へご協力をお願いします。なお振込用紙は部会の際に主査の皆様を通じて各クラブへお渡しします。メネット会がないクラブ、メネット活動がないクラブも主旨を理解していただき、是非献金へのご協力をお願いいたします。

## メネット活動に関するアンケートの実施

7月に入り主査の皆様を通じて、各クラブメネット会長、連絡員の方々に「メネットに関するアンケート」を送付しています。これは各クラブのメネットの活動がどのようになっているのかを把握し、よりよいメネット活動が送れるようにするために実施するものです。そのアンケートの中に、私の事業主題である「メネットパワーを結集し、感動をわかちあいましょう!」を実践していただく項目を入れています。それは「私達メネットは老眼鏡を集めています。」とか書いていただくと、その情報を後日主査の方々を通じて西日本区全体にお知らせしますので、協力できる他クラブの皆さんはそのクラブへ送っていただいたり、部会に持参していただけたらと思います。送る側も送られる側も嬉しいのではないかと思います。

来年6月岩国での西日本区大会で西日本各地からの障がい者アート作品を見ながら、皆さんと一緒に感動の時を迎えられることを楽しみにしています。1年間どうぞよろしくお願いします。

西日本区作成のワイズメンズクラブパンフレットが新しくなりました。ワイズPRにご利用ください。在庫につきましては、西日本区事務所にお問い合わせください。



# 部長メッセージ



## 長所を活かして 生き生きと！

中部部長 平口 哲夫  
(金沢厚川)

会員がたった6人しかいない“限界クラブ”が部長と部会ホストを引き受けるまでには、何かと紆余曲折がありましたが、引き受けた以上、「長所を活かして生き生きと」取り組みたいものです。この部長主題は、理事主題がどのようなものであろうとも応用がきくようにと思いながら、クラブ入会以来10年の経験から考えつきました。当クラブのように会員が少人数になってしまうと、ほぼ全員が各自の長所を活かして役員・委員長を担当しますので、勢い固定化が強まります。このような体制は、臨機応変に対応できる、つまり小回りがきくという利点がある一方、各自の負担が大きく、ひとり抜けても大変な事態になるという危険性を孕んでいます。まずは健康を維持して務めを全うできるように心がけます。また、当クラブの短所を他クラブの皆様方が補ってくださいませよう、絶大なご支援とご協力をお願い申し上げます。

部長副題もクラブ活動10年の経験から「円滑なコミュニケーションをもって奉仕活動に励み、事業の質的向上を会員増強につなげよう」を掲げました。「円滑なコミュニケーション」という点では、私自身、いろいろ失敗を重ねておりますが、「事業の質的向上」にはいささか貢献したという自負があります。コミュニケーションをもっと上手にしながら奉仕活動に取り組めば「事業の質的向上」にとどまらず「会員増強」にもつながるのではないかと思います。コミュニケーションの大切さは、所属クラブの会員間はもちろん、他のクラブや他の部との間でも通じ、高瀬稔彦理事が強調なさる「親睦」の基本でもあります。

ところで、2013-2014の事業主査のうち、Yサ・ユース、地域奉仕・環境、EMC、ファンド、交流、広報の6事業主査については比較的容易に引き受けていただきましたが、メネット事業主査については難航し、結局、所属クラブの澤瀬会長を介して澤瀬メネットに無理を承知でお願いし、実務は会長や部長が代行するという約束で引き受けてもらいました。私は、この10年間のクラブ活動を通して、メネ

ト会という制度にはいささか疑問を持ち、メネット事業の内容自体は重要であります、それはメネット会としてではなく、ワイズメンズクラブとして別の事業名称で行えばよく、メネット主任やメネット主査という役員を設けなくてもよいのではないかと、などと思っていただけに、今回のメネット主査人事を経験して、さらにその意を強くしました。

中部9クラブのうち、メネット会があるのは金沢クラブと名古屋クラブだけです。メネット会というのは、町内会や教会の「婦人会」によく似た性格を持っているようです。私が属するNGOの一つ「世界連邦運動協会」の関連団体に「世界連邦全国婦人協議会」というのがあったのですが、その会長をなさっていた湯川スミ氏（湯川秀樹博士の奥様）の逝去後、解散しました。世界連邦運動協会の執行理事会で、「婦人部」を復活させようという意見が出たときに、私は「婦人部というのは時代遅れ、むしろ女性会員の増強を目指すべき」と主張したところ、同席しておられた森山真弓会長代行（元参議院議員・元衆議院議員、環境庁長官・内閣官房長官・文部大臣・法務大臣を歴任）が賛意を表されました。ワイズメンズクラブも女性会員が増え、理事を始めとする役員になって大活躍する女性が少なくありません。だからこそ、名称変更の必要性が国際会議で議題になるのでしょうか。Mennetのetという接尾詞は主にフランス語系で「小」を意味しますから、「メネット」は、本来、ワイズメンズクラブの会員が男性で占められていた時代にその配偶者を呼ぶのに発案された女性的な名称であり、女性会員の配偶者を呼ぶにはふさわしくありません。

とはいえ現時点では、中部部長としてメネット事業に積極的に協力する立場ですから、2013-2014メネット事業主任方針を受けて、中部においても「障がい者アート展」を開催する準備を進めています。メネット主査人選における躓きが、かえってプラスに働き、メネット事業が7事業のうちで最初に取り組む事業となったというのも神様のお導きかもしれません。

Yサ・ユース、地域奉仕・環境、EMC、ファンド、交流、広報の6事業については、8月31日（土）に金沢都ホテルで開催される中部部会・評議会までに具体的な活動計画を立て、9月に入ってから実行に移す予定です。



## びわこ7クラブは 強い絆で結ばれている

びわこ部部長 川瀬 勝彦  
(彦根シャトー)

部長主題として“Let's Go200推進に向けて「びわこ部はひとつ」とさせていただきました。副題として《びわこネックレス構想に向けて》と致しました。

この副題は今から20数年前'91京滋部会で企画されたビジョンカップで最優秀賞を獲得された近江八幡クラブ(故)山田 真(通称ハッピー)さんによって発表され、近未来のびわこ部構想について語られたものです。当時京都では次々と新クラブがチャーターされ、滋賀でも長浜C草津C. が誕生し、滋賀蒲生野C. がチャーターして間もない頃、琵琶湖の周りにひとつ、ひとつ真珠(クラブ)が誕生しました。そんな状況を見て構想されたものと思われます。その後、今から17年前京滋部が京都とびわこ部に分割、2000年12月に大津クラブがチャーターされ今日に至ります。

夫々のクラブの活性化は会員増強に有る事は云うまでも無い事と考えます。井之上直前部長が立ち上げられた「びわこ部200推進チーム」が今期より本格的に始動されるものと思います。

### クラブ間の交流を重ねよう

本年度、夫々クラブの例会年間スケジュール日程表の提出をお願いしております。講師例会・親睦例会・地域奉仕例会等々の案内を部キャビネット及各クラブ会長にお願いしたいと存じます。他クラブとの交流によってお互いに刺激を受けクラブ活性化に継がるものと思います。

### YMCA風の谷キャンプ場はびわこ部の大きな宝

風の谷キャンプ場整備は7クラブにとって意義有る素晴らしい事業で有ります。キャンプ場ワークでは年々新たな設備が施され素晴らしい環境の下、子供達に、YMCAリーダーにとって益々利便性豊かなキャンプ場に成って行くものと思います。本年もキャンプ場運営委員会によって求められる事業に応分のご負担とワークに参加ご協力よろしくお願い致します。

### びわこ部会及メネット会・リーダー交流ボーリング大会・研修会参加について

びわこ部会は彦根シャトー河口裕亮実行委員長の下、10月5日(土)マザーレイクびわこビアンカ船上にてデキシリズムに揺れて、素敵ランチ・楽しいお酒に大いに楽し

んでいただきたいと存じます。全会員の登録を心よりお願い致します。又 Y・サユース事業YMCAリーダーとの交流ボーリング大会、EMC研修会等にも奮ってご参加いただきますようお願い致します。今期一年間部長主題の下、びわこ部全会員・メネットの皆様の暖かいご支援とご協力宜しくお願い申し上げます。



## 京都全クラブの力を 繋げて発展

京都部部長 桂 厚子  
(京都ウエスト)

### 部長標語

Let us join hands !

さあ! 手を取り合ってワイズの輪を広げましょう!

京都部は現在18クラブ500名弱のメンバーを抱えています。1つの京都YMCAに在京17クラブが競ってY・サユース事業に取り組んでいるという全国的には珍しい状況です。そして郊外の福知山市に、スタッフのいない福知山YMCAがあり、永年に渡って1クラブで頑張っていたいただいています。メンバーの高齢化、メンバーの減少に悩んでおられるクラブに、牽引力となれるように各クラブの情報化、交流化を図りたいと思います。もちろん京都部の各クラブも、それぞれ多かれ少なかれ抱えておられる問題があります。それを明確化し出来る限りのお手伝いをし、メンバー増強を図りたい。そして各メンバーが自分を磨き、まずは自クラブが魅力的な集まりであることを、ワイズメン内外問わずPRしていきたい。その事から今期ワイズデーを、バリアフリーコンサートの企画をいたしました。もちろんそれには親睦が欠かせません。例会のみならずいろんな親睦会の企画を立ててもらいたい。それはクラブを超えても誘える会があつていいのではないかと考えています。近辺に集まっているクラブメンバー、層の厚い人材、資金力に恵まれています。それらをもっともっと生かして、メンバーを増強し、よりYMCA支援、地域奉仕に捧げたいと考えております。今年の全国リーダー研修会を支援し、各クラブで屋台を作り昼食を提供し、交流を企画しています。

### 活動計画

#### 1.YMCAサービス・ユース事業

YMCA事業をリトリートセンターのワーク、サバエ(琵琶湖)のワーク、夜桜フェスタ、オータムフェスタ、募金活動、チャリティーゴルフ、クリスマスロビーコンサート等々全

クラブで支援する。ユース事業を継続支援する。全国YMCAリーダー研修会を支援する。YYYフォーラムの充実を図る。京都YMCAが取組む東日本大震災支援活動を継続して支援する。

## 2.地域奉仕・環境事業

各クラブ単位のCS活動の支援と地域貢献環境問題への取り組み、国際統一事業ロールバックマリアへの理解を推進。各クラブの地域奉仕活動の情報を共有し活動の広がりを推進する。チャリティーボウリング大会を実施する。ワイズデーへの参画企画(2013年11月4日バリアフリーコンサートの開催)広報事業と共にワイズの知名度を広げる。招待など各クラブ支援施設への働きかけをし、感動を共有する。

## 3.EMC事業

EMC懇談会にて、各クラブの取り組みを激励し、啓発をする。会員増強、特に青年会員の獲得に重点、京都部600名の体制とノドロップを目指す。会員相互のメンバーシップの向上を目指す。各クラブへ例会の充実を図りゲストを呼びやすい環境を整え推進する。各クラブのEMC活動の情報共有を推進する。

## 4.ファンド事業

BF代表を積極的に推薦。ファンド事業の推進を図る。BF、EF、JWFの西日本区目標を最低ラインとする。早い献金達成を目指す。各クラブのオリジナルファンドの情報共有を推進する。

## 5.交流事業

IBC、DBC交流の積極化(クラブメンバー単位の交流も)、交流事業の情報を各クラブ間で共有する。ソーシャルネットワークを利用し新たな交流を模索する。EMC、広報と連携し部内の交流を推進する。

## 6.広報事業

クラブ単位での広報(クラブ紹介広報、地域奉仕広報)を支援する。部広報事業を推進する。京都部ホームページのアクセス向上を図る。各クラブの広報活動の情報を共有する。ソーシャルネットワークを活用する。地域奉仕事業と共にワイズの知名度を広げる(ワイズデーの実施)

## 7.メネット事業

メネット事業を広報し、理解を広げ京都部メネットアワーを開催し、9月1日合同メネット会の開催(不思議な有難うのチカラ)講演予定。メネット国内プロジェクトと京都部ワイズデーをジョイントし、区メネット事業への協力をする。11月4日ワイズデーの協力とともに花松れいな氏の作品展示をする。



## 行動するときそれは 今でしょ!

阪和部部长 飯沼 眞  
(大阪泉北)

「若さと行動」《Youth & Action 今こそ行動するとき》を主題に掲げて、第25期(2013-2014期)阪和部長の任を務めます飯沼眞です。どうかよろしくお願ひします。

大阪、奈良、和歌山の3YMCA ユースリーダー支援をかけた。さらに阪和部としては、ワイズとYMCAが青少年問題、地域・環境、福祉介護などの社会の課題に取り組む、奉仕団体としてのワイズ運動の原点確認と東日本大震災から2年余り経過をしているが、なかなか進まない被災地復興支援に取り組めます。

特に、大阪サウスクラブは福島県の現地へ、水ペットボトルを既に6回にわたり自ら運び込み支援をされ、今後も継続されます。また、大阪泉北クラブでは、宮城・岩手両県の現地物産販売会、食事会の開催や数度にわたる現地訪問をするなど支援をされ、今期7月には仙台市内のワイズメンズクラブと現地での交流会を計画されるなど、支援活動を積極的に展開されています。

また、9月14日に紀泉わいわい村で開催を予定しています阪和部会は、YMCAと共に活動するワイズとして、大阪YMCAが管理する野外活動施設で開催し、東日本大震災被災地支援企画事業の展開も計画し、行動するワイズを示していきます。

Yサユース事業では、阪和部区域内の大阪YMCA、奈良YMCA、和歌山YMCAの地域3YMCA ユースリーダー活動のサポート行い、3YMCAがそれぞれ開催するチャリティーランに協力します。

地域奉仕・環境事業は、被災地支援だけでなく、身近にある地域環境の問題などを考えていきます。

EMC事業は、ワイズ活動の原点は各クラブ例会の充実であり、各クラブがクラブ例会の自己点検をし、例会の充実を図り、また、新入会者のフォローを含めメンバー同士の親睦を深めてワイズ活動を進めます。

ファンド事業は、ワイズ活動が国際協会の一員であることを理解し、BF(Brotherhood Fund)の重要性を再認識し、BF 献金を呼びかけ、各クラブとともに各ファンド資金及び基金の目標額達成をめざします。

交流事業は、DBC、IBCの締結は、各クラブでのワイズ活動の発展からなされるもので、クラブの世代が代わっ

でもワイズ同志の交流は永遠になされるものであり、仲間とのつながり、親睦、交流があつてのワイズ活動が原点と認識し、各メンバーに集会などの参加を呼びかけます。

広報事業は、部報の発行、ホームページの活用などを通じて、情報発信と会員交流に資する広報事業を目指したいと考えております。

メネット事業は、西日本区が呼びかける「エイブル・アート」、「ボーダレス・アート」の障がいのある方々の個性あふれるアート展等の支援を、阪和部として各クラブの協力を得て積極的な事業展開をします。

メンバーの平均年齢が多少上がっても「若い」と「行動」する阪和部です。行動するときそれは 今でしょ! どうかよろしくをお願いします。



## 初志貫徹

中西部部長 塚 理  
(大阪茨木)

部長主題「ワイズの価値を見直そう」

《ワイズは何をすること? 「見える化」「わかる化」「いかす化」》

本年度、部長の役職を賜りました、塚でございます。江見淑子前部長より受け取りましたバトンを、上手く運べるか大きな不安もございますが、1年間、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

さて、高瀬稔彦理事の理事主題は「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」です。クラブや例会のあり方を見つめ直し、クラブの魅力を磨き、新しい成長に繋げましょう、という考え方です。高瀬稔彦理事と私は年齢が近いだけでなく、ワイズメンズクラブに対する考え方も似ており、理事主題をすぐに自分のものとすることができました。

私は、小学校から高校までYMCAのキャンプやサッカーに育てていただいたYっ子であり、大学時代からサラリーマン時代はボランティアリーダーやユースOBとして、YMCA活動に関わってきました。そして、28歳の時に、ワイズメンズクラブ側からYMCAを支えていきたいと考え、ワイズメンズクラブに入会しました。

入会当初から感じていたことは、ワイズメンズクラブは大変素晴らしい活動をしているのに、ユースリーダーにも外部の方にもなかなか活動が理解されていないことでした。

そこで私は、少しずつでもワイズメンズクラブの価値を見直す活動をおこなっていききたいという初志貫徹を誓い、この度の部長主題は「ワイズの価値を見直そう《ワイズは何をすること? 「見える化」「わかる化」「いかす化」》」という主題をあげさせていただきました。

まず、ワイズメンズクラブの価値を見直しながら、外部への発信をおこなう「見える化」。次に、新入会員やワイズメンズクラブ以外の方に対して、ワイズがどんな活動をしている組織なのか理解してもらう「わかる化」。

そして、ワイズメンズクラブという素晴らしい組織をより自分のものとし、活かしていくことの「いかす化」。

これらを実践することで、各クラブの活性化や次世代との交流に繋げたいと考えます。

具体的には、ワイズメンズクラブの活動を外に発信する方法のひとつとして、地域の社会福祉協議会などを通じて、地域のNPO、青年会議所、商工会議所など他団体との交流を試みたいと考えます。また、EMC活動のひとつとして、部内各クラブの新入会員同士の横の連携を作ったり、ワイズメンズクラブを理解してもらう教育をおこなう工夫、若年ワイズメン同士の交流なども考えます。そして、Yサユース活動のひとつとして、YYフォーラムをうまく利用し、YMCAのスタッフ、ユースリーダー、リーダーOB、OGが戻ることができる場所としてのワイズメンズクラブの位置づけに結び付けたいと考えます。

この1年間は、Yサユース活動、EMC活動に対して、より力を入れ、ワイズの魅力を発信できるようにしたいと考えます。大変若輩者でございますが、1年間、宜しくお願い申し上げます。



## “Sweet”な六甲部へ

六甲部部長 山田 滋己  
(神戸ポート)

いよいよ2013-2014年度が始まりました。去る5/11(土)に準備役員会を実施し、次期の体制を確認して、今期に備えて来ました。

今期は部長主題を次の通り定めています。

「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」

More further interactive & international, and we move the Rokko District. more active.

《一つ一つの楽しい活動を原点にして》(副題)

It is based on the every sweet activity.



英文では、楽しい活動のことを”sweet activity”を表現しました。辞書によりますと、”優しい”、”思いやりのある”や”ほれほれする”、”興味をそそる”、等々の意味が出てきます。六甲部8クラブ各々が、そして相互の活動が、いつも”sweet”なものであることを目指したいという想いを表現しました。

例会をはじめとする活動を”sweet”にして行くには、時間を守る、ゲストを温かくお迎えする等々、当たり前と思われることを当たり前実践して行くことが王道であり近道だと考えています。

今期は8クラブがより相互交流、協力しながら進んでいきます。皆で協働して東日本被災地の復興支援を忘れずに活動します。また2014年より改築予定の神戸YMCAとそれに向けた活動を支える予定です。

<今後の主な予定>

・2013年7月13日(土)第1回 評議会、EMC研修会、8クラブ納涼懇親交流会

於神戸大学 海事科学部(深江キャンパス)

・2013年9月7日(土)六甲部会

於神戸クリスタルホール

・2013年9月27日(金)～30(月) きらりと輝くアート展(仮称) 於 芦屋市民センター 多目的ホール

・2013年11月4日(月) 神戸YMCA チャリティーラン 於 しあわせの村



## 出来ることに心を込めて 全力で

瀬戸山陰部部長 前田 文夫  
(姫路グローバル)

「気前のよい人は自分も太り、他を潤す人は自分も潤う。」  
箴言 11:25

他人を思いやることは人間として素晴らしいことですし、私たちはそうすることによってきっと神様から私たち自身も祝福されることでしょう。また私達は奉仕団体で他人を思いやることをモットーに、同じ思いを持った者が一つになることで、より大きな力を発揮することが出来ます。

瀬戸山陰部は読んで字の如く、クラブは外海の激しい日本海と比較的穏やかな瀬戸内海に面し、また3つの県に跨っています。各クラブは、比較的小さな群れではありますが、国際も含め地域に根ざした地道な活動を継続して、地道に行っています。聖書にも「小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は、喜んで神の国をくださる。」—ルカ12:

32—と記してある通りです。

この度は、姫路グローバルが瀬戸山陰部のホストを勤めることになりました。十分なことが出来るか少し不安ですが、主題とした「出来ることに心を込めて全力で」瀬戸山陰部の皆さんと共に一丸となって、国際を含めた地域の為に良き働きと活動や部の皆さんとより深く親睦を図ることが出来ればと願っています。その目的も兼ねて部会は1泊2日を予定し、場所は姫路市の坊勢島での開催を予定しています。そこでゆったりと寛いだ雰囲気ワイズを語り、瀬戸内の海の幸を十分満喫して頂けることでしょう。

もう一つ重きをおかなければならないことは、私達は確実に歳を取っていますが、その経験を生かした、そして継続した素晴らしい活動をする必要があります。また、より多くのメンバーで活動する方が確実により良い成果に繋がります。そしてクラブが末永く繁栄する為にも、より多くの若い人に繋がってもらうように勤める必要があります。若い人(ユース)が入り易い親近感のあるクラブ環境作りを、部としても精一杯頑張りたいと思います。

各クラブの皆さんと評議会部会でお会い出来るのを楽しみにしています。



## ワイズ20年の楽しみ

九州部部長 入佐 孝三  
(熊本むさし)

<チャーターナイトとワイズ劇団>

ワイズに入会して20年目に九州部長の役をおおせつかりました。さて、部長方針を何にしようかと考えたとき、この20年間で一番楽しかったことは何だったかを考えてみました。それを部長方針にすれば、一年間楽しく過ごせるのではないかという安直な発想です。

九州部は20年前、8クラブが名を連ねていました。その後の20年間で8クラブがチャーターしてまさに倍増したことになります。残念ながら1クラブの解散があつて、現在15クラブとなっていますが、躍動の20年間に身を置くことができた感謝しています。やはり、新しいクラブができることは、直接の当事者でなくとも心が躍るものであります。その中で、6クラブのチャーターナイトでワイズ劇団の上演のための脚本を書かせていただきました。私にとっては、クラブができることは、芝居の構想を練ることにつながっています。きっかけは、私が属する熊本むさしクラブのチャーターナイトで「むさしワイズ劇団」

として芝居を始めたことです。短い劇ではありますが、時代劇の衣装を着て、カツラをかぶり、アドリブも含めて出演者全員が、意外な役者ぶりにすっかり虜になってしまいました。また。見ていただいた方にも好評で、チャーターナイトでは上演が当然のこととなっていきました。出演者の幅も広がり、多くの西日本区理事、役員の皆様も出演いただき、その熱演ぶりは、チャーターしたクラブの名と共に、今でもしっかり目に焼き付いています。チャーターナイトではありませんが、鹿児島での西日本区大会の懇親会でも「ああ燃える桜島」と題して、九州部全体で歓迎の時代劇を上演しました。実際に桜島を爆発させようということになり、区大会実行委員会の協力も得て、会場で大音響と共に、桜島の噴煙を発煙装置を使って、立ち上げました。なかなか、迫力のある場面ができました。と、その直後、舞台裏に会場のホテルの警備員が全員集まり、騒然となっています。煙を感知した火災報知器が作動したのです。煙は、すぐ立ち消え、大事には至りませんでした。予行演習で、実際煙を出さなかった為のミスでした。ともあれ、おかげで芝居自体は大成功でした。

最近、クラブのチャーターが久しくありませんので、ワイズ劇団の上演も休演状態でしたが、本年9月29日の九州部会では、久しぶりに上演が決定しました。高瀬稔彦西日本区理事や桂厚子京都部長の出演が決定しています。これから、脚本を練り上げていきます。今期の九州部長方針として、EMCの推進をあげました。新しいクラブのチャーターはなかなか、容易ではありませんが、九州部の躍動を継続させ、楽しめるクラブ作りができれば、ワイズ劇団の出番も増えることでしょう。

<国際組織であるワイズをより楽しくするIBC交流>

20年のワイズライフの中で、特に実感したことは、ワイズメンズクラブが国際的な組織であるということです。入会した熊本ジェーンズクラブは初代会長の菅正康ワイズが中心になって、韓国のクラブと活発な交流をおこなっていました。韓国を訪問したときの歓迎ぶりは尋常なものではありません。通常の観光旅行では絶対に味わえないワイズのすばらしさを、堪能しました。その後、熊本むさしクラブのチャーターメンバーとして移籍後、第二代会長に選ばれてまずやったことがIBC締結でした。準備の段階で寒い時期に韓国を何回か訪問し、親交を深めて翌年の春に韓国大邱市の琴湖クラブから30名の訪問団を迎えることができました。阿蘇観光後、温泉に一泊して翌日のIBC締結式には九州部から多くのメンバーが集まり、ワイズ劇団も登場して、最後は韓国民謡アリランの大合唱でフィナーレです。翌年は、こちらから韓国のクラブを十数名で訪問し、韓国の温泉地や大邱市内で交流を深めました。熊本YMCAと大邱YMCAが、姉妹関係にあることも幸いして、年に1回程度の交流を続けています。韓国のクラブもクラブ員の入れ替わりも多く、継続的な交流が必要です。韓国を含め近隣の諸国とは政治的には、非常にぎくしゃくした関係が続いていますが、この閉塞感を打ち破るのは、民間の活発な交流だといわれます。しかし、最近諸般の事情で、特に若いワイズメンのIBC交流熱が冷めている感じを受けます。交流の経験のないワイズメンも、実際に経験できる合同の交流会を計画して、将来のIBC交流の活性化の基礎になればと考えています。楽しみながらやれるところがワイズのすばらしさであります。やらないことは、本当にもったいないのです。



2013～2014年度第1回役員会

\*\*\*\*\*西日本区理事引継式立会人の大任を終えて\*\*\*\*\*

森田 恵三(京都ウエスト)

去る2013年6月22・23日(日)ウエスティンナゴヤキャッスルにて開催された第16回西日本区大会の第2日、理事引継式に先立ち、私の立会人退任が告げられ、浅岡徹夫直前理事より心あたたかい感謝の言葉をいただき、万感胸にせまるものを覚えました。

15年の長きにわたり名誉ある理事引継式の立会人を務めてまいりました私ども夫婦が、今回より吉本貞一郎ご夫妻へバトンタッチさせていただくこととなったのです。ついでにはこの際に西日本区の皆様はこの事情をご理解いただきたく西日本区報に寄稿させていただきました。



第1回西日本区大会での立合い

実は、今をさかのぼること16年前、1997年6月、名古屋で開かれた日本区最後の第50回日本区大会までは、長らく元国際会長・日本区名誉理事でありました今は亡き鈴木謙介様ご夫妻が、この引継式の立会人をお務め下さっていたのですが、日本区ワイズが東西両区に分かれた1998年、倉敷での第1回西日本区大会の開催に際し、鈴木様から日本区ワイズが生まれ変わって、東西に分かれて初めてとなるこの大会からは、立会人としても世代交代する方が良いとの旨を提言され、たまたま当時国際議員の職にあったことから不肖私が佐々木宣夫初代理事より拝命した次第でした。年齢差22歳の若返りとなって以来、第2回を除いて昨年の第15回長浜大会に至るまで、その都度、現理事・次期理事からの委嘱をうけ通算15回にわたり立会人の榮譽に浴してきたのです。

その私もかねてより若返りすべきと懇請していたのですが、ようやく今回に至り、亡き成瀬晃三理事・高瀬稔

彦次期理事・浅岡徹夫直前理事のご承諾を得て、立会人の職責を終わらせていただくこととなったのでした。

後任を引き受けていた



いた元理事で国際議員も務められた吉本貞一郎ワイズは未だ54歳。79歳となった私との年齢差は25歳という大変大きな若返りとなりました。時あたかも新理事とされた高瀬稔彦ワイズもなお若くして41歳であります。

会員増強がはかばかしくない西日本区ワイズダムの低迷時代を脱出し、質量ともに大きく発展することを目指さねばならないこの時、まことに時宜を得た立会人交代となったことを衷心より喜び、安堵いたしております。

西日本区大会にて退任ご挨拶を申し上げたあと、多くの方から長年の労をいたわり感謝の言葉をかけてくださったことは、私ども夫婦にとりましては、この上ない贈りものと有難うけとめさせていただきました。

長年あたたかく私を支えて下さった西日本の皆様には、いつも感謝しつつ大役を務めてまいりました。終わりに当たってあらためて西日本区ワイズメン・メネット皆様方の友情に心より感謝するとともに、今後のワイズダム発展を切にお祈りして退任のご挨拶といたします。





## \*\*\*\*\*事務職員としての16年\*\*\*\*\*

西日本区事務所 北村久美子(大阪西)



東西日本区ワイズメンズクラブが発足するとき、当時、次期理事の伊藤圭介さんと元副区理事の灰谷隅夫さんから西日本区事務所が新たに来るので、事務職員として仕事をしたいと依頼を受けました。

前年、主人を亡くしていたので、仕事は嫌いではないし、出来るかどうか不安もありながら、周りがサポートするからという事で、東京まで引き継ぎ勉強に行きました。事務所長として、大阪サウスクラブの鈴木誠吉さんがお手伝い下さいました。

PCも良く分からなかったのですが、若いころから英文タイプライターや邦文タイプを打っていたので、キーボードにはさほど違和感はありませんでした。日本区最後の年にクラブ会長を経験していたのも少しはプラスになりました。でも国際の事やアジアの事は分からない事ばかりです。毎回当時のISGイングバー・ワーリンさんやIHQのヒリビーさんにメールで質問していました。ワイズ用語や難しい英語は大阪センテニアルクラブの谷川寛さんが先生を務めてくれました。

長女がPCを買ってくれ、家で猛勉強しました。会計ソフトは大阪河内クラブの望月強さんがワイズに合わせて作成してくれました。奈良クラブの濱田さんは時々会社の専門家の社員を派遣して下さい、PCについて色々アドバイスをくれました。今日あるのは多くの皆さんの支えが有る事です。

又、BFデリゲートのフルグラントでアメリカ南部を一か月訪問した事や、デンマークにパーシャルグラントで参加し、日本の国旗を持ってフラッグセレモニーに出させて頂いたのもワイズ理解への大きな足跡です。

10年近くは交通費は頂かず、過ごしました。某国際会長に君のサラリーは週給か?と聞かれた事もあります。(ちょうどISG交代の時期で、ISGの給料が話題になった頃です)ボランティアの会であるからと答えると納得してくれました。

亡き主人がワイズに入れた喜びは、「出来るよるこび」が口癖でした。お金が無くてダメ、健康でなくてもダメ、時間が無くてダメ、家族の理解が無くてダメ、周りのみんなが認めてくれなくてもダメ。これらの条件が全て整ってワイズ運動に参

加でき、自分自身が成長し、楽しめるのだ。これ出来る喜びである。と言っていました。今思うと、この言葉が、私に16年間という時間を過ごさせてくれたのだと思っています。

勿論、誹謗中傷されたこともあり。嘘を付かれた事もありました。誤解されたことも…悔し涙を流した事もあります。そんな時、故初田さんが「久美ちゃん一人でも理解してくれる人が居れば、それで良いんだよましてやワイズにはもっと多くの人が久美ちゃんを理解しているよ」と言ってくれました。

毎年新しい役員が誕生し、事業や行事が進められていきます。それぞれの思いが溢れ、時には暴走する事もありますが、皆さんワイズを愛し、世の中の役に立てるように努力しておられます。どの年度が良かったなんてありません。全ての年度、役員は勿論、メンバーも努力し、社会の一ページを作り上げていってくれています。そのほんの一握りのお手伝いをして来れた事は、とても嬉しい事でした。今ではアジアや世界に多くの知人が出来ました。お金は使えば無くなってしまいます。しかし、事務所の仕事をさせて頂いて得た知識や友人は生涯無くなりません。大きな大きな財産です。主人は多くのお金は残してくれませんが、それよりもっと大切な心の財産を残す方法を教えてくれたのだと思っています。

クラブ会長をした時の日本区最後の大会が名古屋キャッスルホテル。この時、事務職員の仕事をする紹介をして頂きました。そして先日の大会で事務職員定年のサプライズ報告があったのも、名古屋キャッスルホテル。きっと神さまが私に可愛い、いたずらをしたのでしょうね!!

国際やアジアでは西日本区は高い評価を受けています。皆さんの献身的なワイズへのお働きを、少しでも報告できるように努めて来た事は私の心の支えです。歴代の理事をはじめとし、役員の方々やメンバーお一人お一人が私に勇気と力を与えてくれました。本当に感謝しています。

素晴らしいワイズメンズクラブの発展を願って止みません。死ぬまでワイズの名を汚すことなく、隅っこで楽しみたいと思っています。本当に有難うございました。でも、私にはまだ残された仕事があります。それは新しい職員の方に仕事を引き継ぐこと。これが終わって初めて完璧な退職となると思っています。

それまでは、少しの間、まだ名前がどこかで聞かれるかも知れません。どうぞ宜しくお願い致します。



# 常置・特別委員長からのメッセージ



## JWFを今一度考えよう

JWF 管理委員長 仁科 保雄  
(京都キャピタル)

西日本区にJWFが創設されて以来、本当に貴重な献金をクラブにおきましても、また個人的に何かを記念してと、JWFに献金を戴き、西日本区に大きく貴重な基金として記載されています。しかしこの基金をどうするのか、またどのように活用できるのかを、多くの方々が注視されているものと思います。この基金をどのような道筋に活用できるのかを、今まで討議をあまりされていなかったものと思います。

JWF管理委員会の中でもこの件に関しては最も困難な協議事項であったと思います。それぞれ歴代の委員長の方々が役員会において説明されているのは、「ワイズメンズクラブ発展のための基金」としか答えられていないように思います。また迂闊に答えられないのが事実でしょう。

こうしか答えられないのが現状ですが、今一度ワイズメンズクラブ発展のためとはどういうことを意味するのかお考えいただきたいと思います。

私たちJWF委員会は絶対出せるとか出せないとかを決める委員会ではありません。皆さんの思いを集約し、部より区に申し出て戴いて初めてJWF委員会は機能致します。長年に亘りワイズを愛する多くの方々が、様々な思いを込めてご献金頂いている貴重な基金ですから、区としても大所高所から判断して用途について検討することも必要かと思えます。今いくら基金としてプールしていると云っても、諸々に何でもかんでもワイズメンズクラブ発展のためと言っても、使い方によっては、基金はあっという間に枯渇いたします。これから益々いろいろの面で要求される事が多々あると思いますが、それが本当に西日本区全体発展のためと考えた時よく討議し、先程と述べましたように各部から西日本区に上程いただきますようよろしくお願い申し上げます。



## 未来を担うワイズ活動は、やはり自己研鑽から

ワイズリーダーシップ開発委員長  
藤井 久子 (神戸学園都市)

ワイズリーダーシップ開発委員会(以下 LD 委員会)の役目は、2つの研修会の開催です。研修は、未来のワイズメンズクラブを担う方々の意識向上、次期理事方針の徹底を図ることを目的としています。

今期「次期役員研修会」は、次期の組織変更を見据え10月の実施となります。次期の事業を遂行していただく主任・部長グループの研修です。役員となられる皆様にワイズ理論の再確認と、具体的な事業活動に向けて計画をしていただきます。3月の研修会には、会長・主査の方々にご自身の方針・事業計画を発表し理解・賛同していただかなければなりません。そのために「次期会長・主査研修会」までにコミュニケーションを密にしていきたいと思えます。

3月の「次期会長・主査研修会」では、参加されている会長・主査は、未経験の方と経験のある方が半々になっています。初めての方には、「より具体的に丁寧に」を基本としています。経験者の方々の出席率は少し低いのですが、現状・情報を得ていただき、次期への意識を高めていただくためにも全員参加をお願いしたいと思います。

両方の研修会ともプログラムが目一杯になっておりますが、忙しい中参加いただいておりますので、より多くのものを持ち帰っていただきたいと LD 委員会は考えています。西日本区全体から集うこの研修は、意見交換が出来、交流を深めることができる絶好の機会です。自己研鑽が出来、同期の仲間との交流が出来るこれらの研修会は「楽しい」ものではないでしょうか?西日本区全体が同じ思いを持ちスタートすることが、ワイズメンズクラブの発展に繋がると思えます。

LD 委員会内の主査の手引き等編纂委員会では、現状にそぐわなくなっています「事業主査の手引き」「クラブ運営マニュアル」「連絡主事ハンドブック」等の改訂作業を行なっています。次期の新体制発足までには、終えたいと考えています。

LD 委員会が発足して11年目になります。LD 委員会

は、各部から比較的経験の浅いメンバーによって構成されています。そのためには、委員の資質の向上も必要と考え、今期はLD委員の研修を行います。LD委員会に関わることによって、ホームの部・クラブに良きフィードバックがあると信じております。

今期の研修会は下記の要領で開催します。対象の方々にはご予約をお願い致します。

- 次期役員研修会(2014-2015期 役員対象)  
2013年10月26日(土)～27日(日)  
チサンホテル新大阪
- 次期会長・主査研修会(2014-2015期 会長・主査対象)  
2014年3月8日(土)～9日(日)チサンホテル新大阪



## 西日本区ホームページの 更なる活性化に挑む!

情報委員会委員長 吉村 秀喜  
(長浜)

前期は広報事業主任という大役を仰せつかりましたが、なにかしなければと模索している間に時間が過ぎ、結局なにもできませんでした。

今期は情報委員会の委員長を拝命させていただくことになりましたが、広報委員会と協力し、西日本区ホームページの維持管理および活性化をすすめるべく、前期の分を取り戻すつもりで尽力したいと存じます。

西日本区ホームページの維持管理につきましては、WEB技術のスキルを必要とします。

今期の情報委員会のメンバーは、伊藤 剛ワイズ(京都トゥービークラブ)と畠平 剛志(大阪河内クラブ)、私の3名体制です。伊藤ワイズは前期も情報委員会のメンバーとして西日本区ホームページの情報更新でご活躍いただきました。またWEB制作会社を運営されており情報委員会にとって心強いメンバーです。畠平ワイズは情報システム系とは畑違いの歯科医をされているにもかかわらず、前期は阪和部のホームページをリニューアルされました。阪和部のホームページでは部に所属するクラブの活動情報を頻繁に掲載され、部ホームページのお手本となるような見事なホームページとして進化にご尽力いただきました。

心強いお二人と広報事業主任との協働にて、西日本区ホームページの更なる活性化に挑みたいと存じます。

一年間、皆様のご指導のほどよろしく願いいたします。



## 折り返し点

組織検討・安全対策委員長 乙坂 優次  
(京都トップス)

委員長3年目に突入しました。今期は高瀬稔彦理事のもと、どれほどの貢献が出来るかの正念場を向かえる期と考えております。1・2年目は組織の改正に伴う、施行細則や諸規則の修正案や新規作成案を区に提案し役員会にて審議して頂くことに終始致しました。今期は次期新編成に移行する最終段階を向かえる大事な期であると考えております。スムーズに移行できるよう誠心誠意務めさせていただきますので、皆様のご協力を偏にお願い致します。

昨年度期首に、委員会運営や人生訓等々色々な面でお力添え下さった正村公一委員(彦根シャトー)がご逝去されるという悲しい出来事があり、運営に不安を覚えましたが、委員の皆さんのご協力で無事務めを果たすことができました。感謝です。今期は少し変動がありますが、メンバー編成7名で推進して行くことになりました。

今期の委員会活動は、7月第1回役員会の結果を踏まえ、新委員の顔合わせも兼ねて委員会を開催したいと考えております。その頃にはEMCの集計も出揃って、西日本区の情勢も分かるでしょう。EMC・2000推進チームのお働きとクラブメンバーのご協力で会員数は着実に増えてきているように聞いておりますが、クラブによってメンバー数に大きな差が生じていることも現実として起こっています。各クラブにおいては多種多様な事情が有るとは思いますが、活発なクラブのノウハウを採り入れて一人でも多くのメンバー獲得を目指して頂きますようお願い致します。クラブが活性化すれば部も活性化し、部が活性化すれば区も活性化し、強いては国際も……。そうならば自ずから組織も完璧なものになると思います。そしてクラブが活性化すれば退会者も少なくなると思信します。メンバー及び若年層勧誘のノウハウをお持ちの方は是非ともご教授下さい。責任を持って公開させていただきます。

今後とも当委員会に対しご指導・ご協力を宜しくお願い致します。



## クリスチャニティー(特別)委員会の今期の活動は?

クリスチャニティー特別委員会委員長  
田上 正(熊本むさし)

2011年5月に東京に転勤になった。在京のクラブに移籍すべきなのだが、クリスチャニティー特別委員会委員長の役割を与えられているので、熊本むさしクラブ在籍のまま他クラブの例会や行事に参加させてもらっている。東日本区では東西日本区に分かれた時に、クリスチャニティー委員会をつくるか否かについて議論があったようだが、結局設立されなかったようである。

特に在京のワイズメンはクリスチャンの割合が多いので、わざわざキリスト教理解のための委員会は必要なかったのだろうか。一方西日本区のクリスチャン会員はYMCA 連絡主事を除くと21.6%であり、最少の京都部(4.4%)から最大の六甲部(49.2%)と部によってもクラブによっても大きな違いがある(2011年1月のアンケートから)。「キリスト教精神をバックボーンに持つYMCAやワイズクラブのアイデンティティーの維持のためには、ワイズメンバーによるキリスト教理解を役割とする委員会が必要である」として委員会設立に努力された先達の見識があった。当時の西日本区のキャビネットのメンバーのクリスチャンは少数であったから、キリスト教を嫌いにならずに一緒にワイズライフを楽しみましょうというスタンスであったようだ。

2004年、初代クリスチャニティー特別委員会委員長井潤ワイズ、初代チャプレン西村清ワイズ(いづれも名古屋クラブ)を中心に委員会が編成された。その時九州部から招集されたのが自分である。長井ワイズから、ワイズに入ってクリスチャンになられた方の力を是非お借りしたいのですと誘われたことを思い出す。2004年に出されたワイズメンズクラブにおけるキリスト教の指針や、次期役員研修会や次期会長主査研修会の「キリスト教理解」テキストを読むと、いかに大多数を占めるノンクリスチャンメンバーに気を使い、キリスト教に違和感を持たずにキリスト教精神を受け入れてもらおうかと努力してきたことが分かる。

西日本区では、YMCAやワイズメンズクラブには歴史的影響もあろうが、同志社大学神学部と深いつながりのある日本キリスト教団に関係するキリスト者のメンバーが多い印象がある。YMCAはエキュメニカルな社会運

動を展開しているので、無論他の宗派のクリスチャンメンバーもいる。

5年前、クリスチャニティー特別委員会委員長の役を与えられた。以来5年間、キリスト教臭さを感じさせないように講座や礼拝式次第・運営を心がけているが、やはり受け手の思いは様々であり、キリスト教を押し付けられていると感じるメンバーもあるようだ。懇親会ではできるだけ賑やかに振る舞い、クリスチャニティー特別委員会委員長らしからぬ?ノリでコミュニケーションをメンバー・ネットの皆さんと取るように心がけている。

東京に来て、2つのクラブで卓話をする機会があった。西日本区次期役員や会長・主査研修会でのキリスト教理解講座(入門編)で話した内容をベースにして話したが、皆さんの琴線に触れたようである。自分のように不勉強で敬虔でもないクリスチャンを、良くぞクリスチャニティー特別委員会委員長に据えている…と言った「西日本区の寛大さ?」や自分の「東日本区にはいないキャラクター」に感心して下さっているような気がする。

ワイズにキリスト教は要らないと公言されていたクラブや部から講演や卓話を依頼されたことがあった。聖職者でない自分がキリスト教を語ることは窮屈なのだが、自分の経験をもとに、イエス様が教えられた隣人への愛と実践というキリスト教精神を語るようにしている。仏教でも神道でも同様の精神があり何もキリスト教に限ったものでない。ワイズメンは、このような精神を受け入れ尊重する者でありたい。

今期のクリスチャニティー特別委員会の目標として、新しいメンバーの発掘と次期委員長への引き継ぎがある。「ワイズとキリスト教一問一答(仮題)」の企画を委員会メンバーに提案することを考えている。東京に住み、自クラブのメンバーとさえ会う機会が少なくなった自分であるが、ITのおかげで何とか役を務めさせていただいている。2013年6月名古屋で開催された第16回西日本区大会聖日礼拝には約300名ものメンバー、ネットが参加してくださった。クリスチャニティー特別委員会のこれまでの努力は、少しずつ報われてきていると信じている。



## ワイズメンズワールド翻訳編集委員会(専任委員)の委員長を交替するに際して

ワイズメンズワールド翻訳編集直前委員長  
野村 秋博 (名古屋東海)

翻訳編集委員服務規則によれば、委員の任期は1年と定め、再任は可となっている。小生は2011年度浅岡徹夫理事に任命され現在まで再任中である。ところが、同服務規則によれば委員長は2年毎に東と西で交替することになっている。現実今年5月発行のワイズメンズワールド(YMY称)の翻訳は東日本区村野委員長のもとで日本語版作成中である。

小生は実質的に専任委員から離脱中である。但し、今年始め頃より国際本部周辺において、国際会長の統括能力(ガバナンス)に疑問を抱かずにはおれない事柄が多発している。例えばYMYの組織に乗せて某国のエステクラブの宣伝を送ってきたり、いつの間にか公式組織の振りをして、元国際会長クラブ通信を送付してきた肝心のYMYの全世界配布が滞っている。この動きに対しては小生異議を国際本部、日本の任命権者にも送付した。

しかし何はともあれ、一昨年から昨年にかけての東日本大震災についての「がんばれ日本」の特集キャンペーンは力強いものがあつた。これに対して応答する報告がYMCA同盟と小生から復興報告がなされた。国際本部の冷静なご指導をお願いします。



## スピーディーに情報の伝達

理事事務局 渡邊 悦司 (呉)

理事事務局の業務役割はロースターに記載されています。長い歴史の中で培われてきたものと思われませんが、書かれている事項は多岐にわたりそれぞれを理解し、運用することは時間と経験が必要と思っています。名古屋での役員引継ぎ式において、谷川修直前事務局長からバッチを装着していただいた時から、不慣れな仕事にいろいろと迷惑をかけないようにと、時間に追われた緊張の毎日が続いております。それでも第1回役員会において、書類の不備、間違いがあり皆様にご迷惑をおかけし

大変申し訳なく思っています。

高瀬稔彦理事の方針にもとづき情報、連絡事項、現況報告等をスピーディーに西日本区のワイズメンの皆様にお伝えすることが一番の役割だと思っております。また皆様のお働きを多くのワイズメンと共有することも必要です。そのために見落としがないように、間違いがないように正確にお伝えしようと心がけていきます。さらに来期は西日本区の事業組織が変更になります。混乱の起こらないように移行できるように情報をお伝えしようと思っております。また理事通信は毎月発行し、情報を伝えるもので皆様に理解していただけるように、簡潔に読みやすいように作りたく思っています。

今期高瀬稔彦理事の方針の一番は親睦です。西日本区のワイズメンと親睦を深めるためにまた、ワイズメンズクラブが活性化するように東へ西へと行動する予定です。一人でも多くの方がワイズメンズクラブに入会されますように微力ですがお手伝いをさせていただきたいと思っております。

理事事務局は国塚和弘事務局員、佐竹早苗事務局員のお二人にお手伝いをお願いしています。皆様の応援をよろしく願いいたします。

最後に事務局からお願いを一つ、提出期限、提出先、報告先を必ず守ってください。一つでも未提出、未報告であれば全体の作業がとまります。全てが揃わないと完成しません。一年間ご協力、ご支援をよろしく願いいたします。



## 各部で考える、各部で行動する 新体制 2000 推進チームへ

西日本区 2000 推進チーム委員長  
大岩 英人 (京都グローバル)

昨年度に引き続き西日本区2000推進チーム委員長を仰せつかりました。一年間、宜しく願いいたします。

2000推進チームって何をしているんだろう?? どんな活動をしているのんだろう?? EMCのアピール隊??

ましてや、2000推進チームって意味があるの?? など少なからず耳にすることがありました。2000推進チーム発足以来6年目になります。歴代委員長はじめ委員の皆さんの地道な活動により、会員数は微増ではありますが増加傾向にあります。発足当時作成された『DVDで学ぶ例会のもち方』、『奉仕活動へのアプローチ(新入会



員オリエンテーション資料)』を基に各クラブ各メンバーの意識改革を訴えつつ、会員増強の重要性をアピールしてこられました。その結果、会員増強をしなければならない、という事はほとんどの会員の頭の中に芽生えていると思います。しかし、どのようにすれば会員増強に繋がるのか、どのようにすれば退会防止に繋がるのかということ、皆さんの悩みではないでしょうか。会員増強、退会防止の方法は一つではありません。何故なら各部、各クラブによって地域性、活動内容、メンバー構成等々、千差万別です。よって今後の2000推進チームの活動は各部、各クラブに合ったより細やかな活動、啓発活動が必要だと思えます。その事を踏まえ、昨年度より西日本区を4つのブロックに分け、各ブロックには各部から委員さんを輩出していただきました。その結果、今まで以上に細やかな活動のできる2000推進チーム委員会体制ができたと思っております。と言っても、2000推進チーム委員会は西日本区EMC事業委員会の中の小委員会です。EMC事業委員会をサポート・連携し、各部EMC事業主査の皆さん、各クラブのEMC委員長の皆さんのご協力をいただき、早期2000名達成に向けた活動をしていきたいと思っております。

そして全ての部において〇〇〇推進チーム等の組織を立ち上げていただき『各部で考える、各部で行動する』2000推進チーム委員会にしていきたいと思っております。ご理解とご協力を頂きますよう宜しくお願いいたします。



## 西日本区17期のスタートにあたって

ヒストリアン・文献保存委員長  
大槻 信二 (京都センチュリー)

前期、私たちは期半ばに現職の成瀬晃三理事が急逝されるという日本区以来、初めての経験を致しました。その苦境の中からすでに、理事代理としてお働きを始めて頂いてはありましたが、新年度を迎え、正式に高瀬稔彦理事期がスタート致しました。高瀬 稔彦理事の副題に「経験がワイズを育みます」とありますが、少し視点を広げると「歴史が西日本区を創ります」と言えるかも知れません。勿論、私達ワイズメンズクラブは運動体ですので、常に前進して行くことが必要です。後ろを振り返ってばかりいる訳には行かないのですが、時には過去の出来事や経験を振り返り、これからの運動を進める上での

糧として頂く事も意味のあるものと思います。

西日本区も標題の通り、今期で17期目を迎えます。区スタート前からのメンバーと、スタート後にワイズメンとなられた方がどの様な比率であるかはEMCの管理におまかせするとして、本1号においては、第1回～第16回の西日本区大会の開催記録概要を掲載させて頂き、「あ、そうそう、あんな事があった」や「へエ、そうやったんや」等、メンバー夫々の受け止めを頂ければと思います。

○第1回 1998.6.13～14 岡山倉敷市芸文会館

理事 故佐々木宣夫ワイズ「ビジョンを掲げ、青年と共に働くワイズ」新クラブが5クラブ出来た年でした。アジア地域大会 韓国 濟州島。

○第2回 1999.6.19～20

全日空ゲートタワーホテル大阪

理事 伊藤圭介ワイズ「さあ!実行のとき」。国際大会 ヘルシンキ。

○第3回 2000.6.3～4 京都 都ホテル

理事 灰谷隅夫ワイズ「21世紀に向って新しい創造を」。アジア地域大会 北海道 十勝。

○第4回 2001.6.9～10 鹿児島市民文化ホール

理事 吉本貞一郎ワイズ「イノベーション (革新)」就任直前に急逝された故大槻隆彦ワイズへの追悼の引継式となりました。国際大会 ホンコン。

○第5回 2002.6.8※ 1日開催ホテルグランピア京都

理事 吉本貞一郎ワイズ「夢を語り未来を想像しよう。アジア地域大会 台湾 台中。

○第6回 2003.6.14～15 彦根市文化プラザ

理事 白井征郎ワイズ「ベクトルを合わせ、地域と共に活動を」。国際大会 シドニー。

○第7回 2004.6.12～13

加賀市文化会館・加賀百万石

理事 大野嘉宏ワイズ「未来に架ける橋」ワイズ浴衣で千人の座敷での懇親会。アジア地域大会 フィリピンマニラ。

○第8回 2005.6.11～12 国際会議場・ポートピアホテル

理事 柴田善朗ワイズ「皆な仲間 働こう!!」阪神淡路大震災から10年。

国際大会 インド コーチン。

○第9回 2006.06.10～11 名古屋国際会議場

理事 佐野文彦氏「すすめ、愛と勇気をもって」。アジア地域大会 韓国ソウル。

○第10回 2007.6.9～10 松下IMPホール

理事 森本榮三ワイズ「One for all,all for one」

ユースクラブ 姫路-Y3設立。

国際大会 韓国 釜山。

○第11回 2008.6.14～15 なら100 年会館

理事 神谷尚孝ワイズ「確信を持って前進しよう!」。

アジア地域大会 タイ バンコク。

○第12回 2009.6.6～7 熊本市市民会館

理事 佐藤典子ワイズ「思いやりを持ってワイズライフを!」。国際大会 デンマーク Herning。

○第13回 2010.6.12～13 広島国際会議場

理事 鈴木誠也ワイズ「すべてのいのちを大切に」。アジア地域大会 スリランカ コロンボ。

○第14回 2011.6.11～12 ウェスティン都ホテル京都

理事 仁科保雄ワイズ「飛翔たとうワイズスピリットを胸に」東日本大震災発生。国際大会 パシフィック横浜。

○第15回 2012.6.9～10 滋賀県立文化産業交流会館

理事 浅岡徹夫ワイズ「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」。アジア地域大会 台湾宜蘭。

○第16回 2013.6.22～23 名古屋能楽堂

理事 成瀬晃三「先頭に立ってワイズの光を輝かせよう クラブで地域で、国際社会で」

成瀬晃三理事 2013年2月25日急逝。

国際大会 ノルウェー スタバンゲル。



## ご苦労さん、 ありがとう を声に

区報編集委員長 三浦 克文  
(岡山)

ロスター掲載よりモットー「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」。国際聖句「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを信じるようになります。ヨハネ17:21」。西日本区定款第2条 目的・モットー第1項 西日本区の目的は、区内各クラブが国際憲法の精神に基づき、あらゆる人々が宗教、信条の相違を越えて互いに親しく交わり、力を合わせ国際協会の綱領と目的の達

成を目指すとともに、この運動を広く西日本区内に拡張するために協力することにある。第2項 西日本区は目的を達成するために、国際協会の綱領に掲げられているイエス・キリストが示された愛と奉仕の実践を目指し、そのための活動を提示し、各クラブの強調を図り、研鑽の機会を提供するとともに、精神誠意YMCAと協働し、東日本区を始め国際協会の各組織と協力することによって、よりよい世界の実現のために努力する。そしてまた「ワイズメン、メネットは一個の理想主義者であること」が求められています。

毎号の原稿の依頼から始まり編集作業をするにあたり、当たり前のことですが、私たちのワイズ運動とは、を思い起こし、当該期の理事方針を確認させていただきながら、進めさせていただいています。メンバーそれぞれは各自個人の歴史が異なります。育った環境、ワイズメンズの所属クラブ・YMCAや経験によって発想が異なることは否めません。原稿執筆者の大多数である西日本区役員といえども然りです。生まれも育ちも異なる私たちは、定款や規則のために活動を続けているのではなく、ワイズの理想を求め、一つとなるために規則があり、ともに働いています。今の時代は様々な災害が覆いかぶさっていることもありますが、思いやりや笑顔が失われ、心に余裕が無いように思われます。今一度ワイズスピリットとは何かをじっくり考えて見ようではありませんか。

さて、今期は高瀬稔彦理事主題「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう」の元にスタートし、部会・評議会が各地で開催されています。例会も然りですが、あらゆる会にプラス思考の目的を持って参加すれば、得るものは大きくなります。そして、お互いに心よりご苦労さん、ありがとうを声に。

区報を読まれる方にワイズの素晴らしさをもっと、もっと伝えようではありませんか。個人・クラブ・部活動を問いません。西日本区発展のためご意見や活動情報をお寄せいただけることを期待しています。

今期の表紙は編集委員蔵知武ワイズが岩国をイメージし、西日本区発展を願い錦帯橋と輝く太陽をデザインして下さいました。いつもながらありがとうございました。

また、理事文の英訳はお忙しい中、谷本秀康ワイズ、谷本久美子メネットがご奉仕して下さいました。感謝。

# 事業委員会再編の報告

西日本区書記 平野 実郎  
(名古屋)

2012年6月9日に開催された代議員会の承認を経て、2014年7月より西日本区事業委員会  
が下記の通り変更となります。

改正前(現行)		改正後	
1.	YMCA サービス・ユース事業 YMCA service (YMCAへの奉仕事業) ASF (アレキサンダー奨学資金) YIA (若者の参画・活動)	1.	YMCA サービス・ユース事業 YMCA service (YMCAへの奉仕事業) ASF (アレキサンダー奨学資金) YIA (若者の参画・活動)
2.	地域奉仕・環境事業 CS (地域社会奉仕) TOF (タイム・オブ・ファスト=断食の時) FF (ファミリーファスト) 環境	2.	地域奉仕・環境事業 CS (地域社会奉仕) TOF (タイム・オブ・ファスト=断食の時) FF (ファミリーファスト) 環境
3.	EMC 事業 EMC (クラブ拡張・会員増強・維持啓発)	3.	EMC 事業 EMC (クラブ拡張・会員増強・維持啓発)
4.	ファンド事業 BF (ブラザーフード資金) EF (エンダウメントファンド=信託資金) JWF (西日本ワイズ基金)	4.	国際・交流事業 BF (ブラザーフード資金) EF (エンダウメントファンド=信託資金) IBC (国際兄弟クラブ) DBC (国内兄弟クラブ) YEEP (ユース留学生交換事業) STEP (ユース短期交流事業) を担当。又、YMCA サービス・ユース事業における ASF (アレキサンダー奨学資金) 地域奉仕・環境事業における TOF (タイム・オブ・ファスト=断食の時) や国際 UGP への協力
5.	交流事業 IBC (国際兄弟クラブ) DBC (国内兄弟クラブ) YEEP (ユース留学生交換事業) STEP (ユース短期交流事業)		
6.	広報事業 PR (広報)	5.	メネット事業 Menettes (ワイズメンの夫人と特別メネットによる事業)
7.	メネット事業 Menettes (ワイズメンの夫人と特別メネットによる事業)		

※広報事業は、委員会に移行されます。

2014度7月より西日本区常置委員会を下記の通り変更となります。

改正前(現行)		改正後	
1.	事務所運営委員会	1.	事務所運営委員会
2.	JWF 管理委員会	2.	JWF 管理委員会
3.	奈良傳賞資格審査委員会	3.	奈良傳賞資格審査委員会
4.	文献保存委員会	4.	文献保存委員会
5.	ワイズリーダーシップ開発委員会	5.	ワイズリーダーシップ開発委員会
6.	情報委員会	6.	広報・情報委員会
7.	財務委員会	7.	財務委員会
8.	区報編集委員会	8.	区報編集委員会
9.	組織検討・安全対策委員会	9.	組織検討・安全対策委員会

## 主旨・目的

1. 国際・交流事業の新設について:ワイズの活動は、主として国内で行う事業と国際との関わりの中で行う事業がある。この国際に関わる事業についてもっと情報を受発信し、理解・関心を持って、より効果的に推進する目的で国際・交流事業主任を新設する。この事業主任はこれまでのファンド事業と交流事業の大半を束ねる役割を担うが、JWF 献金推進はJWF 管理委員会に移管する。

2. ファンド事業と交流事業について:これらの事業の中で、国際関連の献金 (BF/EF) と国際関連の交流 (IBC/YEEP/STEP) が大きな比重を占めると同時に国際的な視点で取り組むことが効果的であると考え。今回の変更で西日本区ファンド事業と交流事業の主任・主査は廃止されるが、クラブ事情により、クラブファンド委員を残したい場合には、クラブの判断にお任せする。なお、JWF 献金推進をJWF管理委員会に移管するのは、JWFを熟知した委員が献金依頼し、管理して頂いた方が効率的であろうと考える。その一方、基金の監査体制は一層強化し、JWF奉仕帳記帳の仕組み等については周辺環境の整備をしておくべきと考える。

3. 広報事業について:ワイズにとって今後、広報活動はより重要性が増すものと考え。特に外部への広報は、多くの方にワイズを理解してもらう為に不可欠な戦略分野である。その為にメディアとのパイプを持つ人材が長期に関わることも必要で、現在の年度毎に替わる事業主任よりも、委員会形態で取り組んだ方が良いと考える。また区・部・クラブ等内部の広報についても、情報委員会と統合してIT技術を持ったプロ集団が腰をすえて対応する方が望ましい。新設する広報・情報委員会(仮称)は、各事業の外部への広報を支援する広報委員と、区・部等の内部広報を支援する広報委員を持つように考えたい。

4. 今回の変更による期待効果:今回「7事業から5事業+1委員会」に変更する事により、西日本区事業主任が2人減り、部の主査は18人減る(実際は広報委員が必要なので約半数は必要)ので、経費の削減と人的余裕が生まれる。しかしこの組織スリム化による経費削減効果以上に、組織の質・効率の改善を期待したい。そういう意味では、今回の変更で不十分な点や行き過ぎた点があれば修正を加えながら、より良い体制に改善して行って欲しい。

#### 概要説明

- ①YMCA サービス・ユース事業(以下Yサと略す):変更しない。
- ②地域奉仕・環境事業(以下CSと略す):変更しない。
- ③EMC事業:変更しない。
- ④メネット事業:変更しない。
- ⑤ファンド事業と交流事業:新設する「国際・交流事業」が国際ファンド事業のBF/EFの責任を持つ。JWF 献金推進についてはJWF管理委員会にその職掌を移管する。

新設の「国際・交流事業」は、IBC/DBC/YEEP/STEP等の交流事業を担当する。

1) 国際・交流事業の新設:西日本区として国際への献金や国際交流等を担う事業で、上記の国際ファンドや交流事業に加えてCSのTOF/ロールバックマラリアや、YサのASFなどの献金についてもYサやCSの事業主任と協力して対応する。

2) 広報事業:特に外部への広報を強化し継続的・戦略的に広報活動を推進する目的で委員会組織に変更し、現在の情報委員会と統合して内外への広報活動を推進する。

以上の結果、現在の7事業を5事業(Yサ/CS/EMC/国際・交流/メネット)と1委員会(仮称:広報・情報委員会)に改編する。



## 2013～2014年度 西日本区強調月間リスト

月	活 動	ポ イ ント
7月	Kick-off EMC-C	MCのCは Conservation。クラブの健全な運営をチェックして、メンバーの満足度を高め、入会者の目線で魅力のあるクラブづくりをめざしましょう!  為国 光俊 EMC事業主任
8月	Youth Activities	身近なユースの活動を知り、協働を図りましょう。  正野 忠之 Yサ・ユース事業主任
9月	Menettes	メネット、コメットを誘って例会を持ちましょう!笑顔も広がり、クラブに活気が出てくるはずですよ!  谷本 久美子 メネット事業主任
10月	BF	BFは、全ワイズメンバーの参加によって集められる資金です。 使用済み切手を収集することで世界のワイズを感じましょう。  長壽 和子 ファンド事業主任
11月	Public Relations Wellness	ワイズデーでワイズメンズクラブのPR活動を!  加藤 信一 広報事業主任
12月	EMC-M	MCのMは Membership。会議や奉仕の中にも「親睦」を大切に、メンバーひとりひとりが成長できるクラブの風土を育てていきましょう!  為国 光俊 EMC事業主任
1月	IBC・DBC	地域を、部を、そして区を越えて、繋がろう! 伝え合おう! ワイズの魅力を! WITH SMILE!  上村 眞智子 交流事業主任
2月	TOF・CS・FF	ひとりひとりの思いやりの心が大きな実を結びます。献金にご協力ください。  生雲 文枝 地域奉仕・環境事業主任
3月	EF・JWF	クラブやあなたのアニバーサリーの思い出・気持ちを献金にこめて、 ワイズダム発展に協力しましょう。  長壽 和子 ファンド事業主任
4月	YMCA サービス ASF	YMCA、ユースとの1年を総括し、次年度に活かしましょう。  正野 忠之 Yサ・ユース事業主任
5月	LT	LTの機会をすべての会員で共有しましょう。自身の学びをメンバーとの親睦とクラブ活性化につなげましょう。  高瀬 稔彦 理事
6月	評価・計画	クラブが発展するために計画の進捗管理をおこない、成功と失敗の経験と知識をきちんと次期に引き継ぎましょう!  高瀬 稔彦 理事
通年	PR	ワイズメンズクラブ内外の人に広く情報を伝えよう  加藤 信一 広報事業主任

## 西日本区事務所及び理事事務局業務役割

西日本区事務所	西日本区理事事務局
<p>〒 532-0012            大阪市淀川区木川東 4-5-4 (株)新上野ビル 3 F            TEL 06-4805-0570 FAX 06-4805-0571            E-mail: info@ys-west.or.jp</p> <p>事務所長 高瀬 稔彦            担当職員 北村久美子</p>	<p>〒 732-0068            広島市東区牛田新町 3 - 5 - 3            TEL 082-229-8464 FAX 082-229-8477            E-mail : 2013e.watanabe@gmail.com</p> <p>理事 高瀬稔彦 書記 益国隆人            会計 山本晶子 事務局長 渡邊悦司</p>
<p><b>西日本区関係</b></p> <p>1.会計事務</p> <p>①区費等(前納・後納)の請求及び受領            ②入会金・加盟金の請求および受領と関係物品の発送            ③献金・その他の受領            ④経常会計経費および特別会計の出納            ⑤毎月の経常会計および特別会計の報告            ⑥年度会計報告書作成補佐            ⑦国際会費他区別会計の送金            ⑧その他西日本区会計補佐</p> <p>2.区財産の管理保管            3.会員異動報告書の受理            4.国際半年報の報告および加盟に関する手続き            5.海外ワイズメンの招請手続き            6.国際・アジア地域・他区との連絡補佐            7.西日本区役員会、代議員会等諸会議の運営補佐            8.国際大会、アジア地域大会、西日本区大会等の運営            9.物品販売の管理を補佐</p> <p>文献保存委員会、ヒストリアン関係</p> <p>1.文献資料の発行、収集、管理保存(文献保存委員会と共に)            2.重要な資料の永久保存(文献保存委員会と共に)            3.海外文献等の翻訳補佐</p>	<p>1.年間方針・計画の作成、一般行政の執行、            年度報告書の作成</p> <p>2.年間予算案の作成、財政の執行、年度会計報告書の作成</p> <p>3.新クラブ加盟金額決定</p> <p>4.HANDBOOK &amp; MEMBERSHIP ROSTER の発行</p> <p>5.半年報のとりまとめ</p> <p>6.西日本区報の発行(区報編集委員会と共に)</p> <p>7.理事通信の発行</p> <p>8.経常会計、特別会計の支出通知</p> <p>9.諸文書の整備保管と後任者への引継ぎ</p> <p>10.役員会、常任役員会、代議員会の準備、招集、            運営、記録</p> <p>11.国際・アジア地域・他区との連絡通信</p> <p>12.海外文献等の翻訳</p> <p>13.国際大会、アジア地域大会への参加促進</p> <p>14.西日本区大会の調整打ち合わせ</p> <p>15.西日本区事務所の運営</p>

# 西日本区第1回準備役員会議事録

開催日：2013年4月13日(土) 13:00～  
14日(日) 12:00

会場：ホテルクライトン新大阪

出席者(敬称略)

<常任役員>

理事 高瀬稔彦、書記 益国隆人、会計 山本晶子、  
次期理事 松本武彦、

<部長>

中部部長 平口哲夫、びわこ部部长 川瀬勝彦、  
京都部部长 桂厚子、阪和部部长 飯沼眞(第1日目のみ)、  
中西部部部长 塚 理(第1日目のみ)、  
六甲部部长 山田滋己、瀬戸山陰部部长 前田文夫、  
西中国部部长 山野進、九州部部长 入佐孝三

<事業主任>

Yサ・ユース 正野忠之(報告のみ)、地域奉仕・環境  
生雲文枝、EMC 為国光俊、ファンド 長壽和子、広  
報 加藤信一、メネット 谷本 久美子

<監事・常置委員会・特別委員会・専任委員・連絡主事>  
第3回役員会に出席

<理事事務局>事務局員 國塚和弘、佐竹早苗

<事務所>職員 北村久美子

<オブザーバー>次期書記 三牧勉 次期会計 豊島  
正利(第1日目のみ)

<第一日目>

1、挨拶 理事高瀬稔彦

2、出席者確認 議決権所有者 名 役員会成立

議長 理事 高瀬稔彦

司会 書記 益国隆人

【第1号議案】2013 - 2014 年度 西日本区役員会等の  
日程について

議案提案者 書記 益国隆人  
2013 - 2014 年度 役員会・研修会等の日程の件  
承認

【第2号議案】2013 - 2014 年度 事業委員会の一部・  
常置委員会・特別委員会専任委員の委員長・委員選任  
について

議案提案者 理事 高瀬稔彦  
2013 - 2014 年度の事業委員会の一部、常置委員会、特  
別委員会、専任委員について、理事として選任したことの  
報告と追認の件 承認

【第3号議案】ロースター発行部数および予算承認

議案提案者 書記 益国隆人  
ロースター発行部数を1750部とし、費用は1部1575円、  
価格は1900円で販売する。 承認

【第4号議案】2013 - 2014 年度 交通費支給基準に  
ついて

議案提案者 会計山本晶子  
従来通り70%支給とする。 承認

【第5号議案】2013 - 2014 年度 西日本区会計予算案、  
事業費の収支予算案の件

議案提案者 会計 山本晶子  
昨年度比で収入は会員減少により75万円減少。支出は、  
国際会費(スイスフラン)、アジア会費(USドル)が大幅  
な円安により70万円増加。代議員会旅費が、岩国開催  
のため40万円増加予定。このため事業費収支予算を  
緊縮し、160万円減少の予算とした。 承認

<第二日目>

事業主任報告

Yサ・ユース事業主任 正野忠之

YMCAサービスの在り方、Yユースリーダーとの取組  
みには地域性があるが、若いメンバーをワイズメンズク  
ラブに入れたいという気持ちは各部共通の思いだと感じ  
る。各部と懇談の時を持ちたい。

地域奉仕・環境事業主任 生雲文枝

次期会長主査研修会で、事業主査の方から「地域奉  
仕やります」と力強いエールをいただいた。RBM や献金  
について、一層の皆さんに浸透するように働きかけを強  
めていきたい。

EMC事業主任 為国光俊

EMCシンポジウムを各部で開催していただきたい。  
また地域性を理解した事業主査や部メンバーが中心と  
なって、将来のビジョンを盛り込んだEMC推進チームを  
作ってほしい。

ファンド事業主任 長壽和子

区ファンド事業は、BF・EF・JWFの3事業であり、  
いわゆるクラブファンドと混同されている事業主査がお  
られることに気付いたので、今後しっかりと伝えていき  
たい。使用済み切手の収集方法については、切り方、選別  
方法などを皆さんに案内をお送りする。切手の報告に使  
われる葉書を現状の3枚(主任宛、主査宛、クラブ宛)

を1枚(主任宛)に変更する予定。

**交流事業主任 上村眞智子**

手術直後で静養中のため欠席。

**広報事業主任 加藤信一**

次期会長主査研修会でのアンケート集計がほぼ終わったので、皆様に開示するとともに今後の広報のあり方を検討していきたい。

**メネット事業主任 谷本久美子**

6月1日に事業主査研修会を開催する。国内プロジェクトについて、献金額の目標を示したほうがよいとの意見があり、各部支援10万円ずつ。区大会での発表用に40万円で130万円を献金目標とする。

**部長報告**

**九州部部長 入佐孝三**

再挑戦を掲げている。この20年間に7クラブが誕生、1クラブ消滅。会員減少が著しくEMCに力を入れる。新クラブ設立に繋がる礎を築く。

**西中国部部長 山野進**

第1回評議会とEMCシンポジウムを7月21日に開催。部会は9月28日に開催。

**瀬戸山陰部部長 前田文夫**

主題は、「出来ることを心を込めて全力で」です。会員増強は100名を目標。Yリーダー、ユースの育成に力を注ぐ。部会は、1泊2日で1万円。メネット事業は評議会と併設で実施の予定です。

**六甲部部長 山田滋己**

主題通り、交流がメイン。楽しい例会づくりから新しいメンバーを迎える体制をつくる。新入会員を中心にしたEMC研修会を計画。神戸YMCAの被災地支援活動や練習船による被災地支援活動をテーマに部会は、神戸駅隣接のクリスタルタワーで開催予定。

**京都部部長 桂 厚子**

EMCと広報に力を入れる。500人超えでバトンを引き継ぐ予定なので、600人達成を目標。Yサでは、全国リーダー研修会が今年京都で開催されるので、支援予定。すべての事業の成果をEMCに繋げる。

**びわこ部部長 川瀬勝彦**

井之上温代直前部長が200推進チームを立ち上げられ、近江八幡クラブの故山田真さんがびわこネックレス構想を立ち上げられて久しい。短期達成は難しいが、各クラブが1~2名の会員増強を達成して、着実に前進したい。

**中部部長 平口哲夫**

EMCも実現できないことをぶちあげるのではなく、地道にできることを積み重ねていきます。部会は一般公開する落語寄席や金沢音頭など趣向を凝らして、皆様をお迎える。メネット事業は、名古屋クラブの谷川修ワイズが福祉活動をされていて熱心なので、メネット会と相談して進めたい。

**阪和部部長 飯沼眞、中西部部長 塚 理**

第2日目は、所要のため欠席

**協議事項**

**【第1号協議】事業主任招聘プログラムへの旅費等負担配慮**

提案者 書記 益国隆人  
西日本区旅費支給施行細則(2)では部、クラブによる例会への公式訪問 ②クラブの周年記念会について、「西日本区役員に出席を要請したクラブが旅費負担の配慮を行うものとする」と促している。YY(Y)フォーラムやEMCシンポジウムは、事業主任が自己負担しているのが実情である。将来、経済的負担を理由に優れた人材が役職への奉仕を躊躇することになるのは、ワイズにとって大きな損失であり、各部でのご配慮をお願いします。旅費支給施行細則に照らして、配慮をお願いします。

**【第2号協議】区行事と部・クラブ行事日程との調整**

提案者 書記 益国隆人  
各部部长様は、事前に区行事の日程の確認をし、重複しないように調整をお願いします。

**【第3号協議】アジアエリアに新設される選任委員会への委員任命について**

提案者 理事 高瀬稔彦  
アジアエリアと韓国エリア分割に伴うファンド資金管理委員会、NDERファンド管理委員会、YES委員会、ユース委員会の新設が、MYMで協議され、承認された。西日本区推薦選任について高瀬稔彦理事に一任いただきたい。

**【第4号協議】クリスチャニティー特別委員会を常置委員会に変更する**

提案者 理事 高瀬稔彦  
職務実情は常置委員会の性格を有している。奉仕内容に則した組織の位置づけに変更したい。

次回議案として提案



## 西日本区第2回準備役員会議事録

開催日:2013年6月22日(土)9:00～10:00

会場:ウェスティンナゴヤキャッスル 藤の間

出席者(敬称略)

<常任役員>

理事 高瀬稔彦、書記 益国隆人、会計 山本晶子、  
次期理事 松本武彦

<部長>

中部部長 平口哲夫、びわこ部部長 川瀬勝彦、  
京都部部長 桂厚子、阪和部部長 飯沼眞、  
中世部部長 塚 理、六甲部部長 山田滋己、  
瀬戸山陰部部長代理 部会計 橋崎恵子(オブザー  
バー)、西中国部部長 山野進、九州部部長 入佐孝三、  
<事業主任>

Yサ・ユース事業主任 正野忠之 欠席、

地域奉仕・環境事業主任 生雲文枝、EMC事業主任  
爲国光俊、ファンド事業主任 長壽和子、交流事業主  
任 上村眞知子、広報事業主任 加藤信一、  
メネット事業主任 谷本久美子

<専任委員>トラベルコーディネーター 鉄谷 明

<理事事務局>事務局長 渡邊悦司

事務局員 國塚和弘、佐竹早苗

<オブザーバー> 次期書記 三牧勉、

次期会計 豊島正利、次期事務局員 湯浅禎也、  
三原茂靖(直前会計)、谷本秀康(東広島クラブ)

開会 9:00

司会 益国隆人

議長 理事 高瀬稔彦

開会宣言および挨拶 理事 高瀬稔彦

ワイズソング斉唱

出席者確認 書記 益国隆人

Yサ・ユース事業主任 正野忠之 第4回役員会に出  
席のため欠席、瀬戸山陰部部長 前田文夫、  
オブザーバー 瀬戸山陰部部会計 橋崎恵子  
議案協議

【第1号議案】第1回準備役員会議事録承認の件

議案提案者 理事 高瀬稔彦  
山田滋己六甲部部長「入会して2年目」を「入会して5  
年目」と訂正。山野進西中国部部長「第1回 EMC シン  
ポジウムは7月21日」を7月27日に訂正。

第3号協議アジアエリアに新設される選任委員会の委  
員任命については取り下げ。 訂正を加え承認

【第2号議案】2013～2014年度 事業委員会、常  
置委員会、特別委員会、専任委員、小委員会委員長、委  
員の選任について

議案提案者 理事 高瀬稔彦

次年度からは5事業1委員会に編成される。JWF 管  
理委員会の委員を理事が推薦し、委員の互選により委員  
長に仁科保雄を選任した。ワイズリーダーシップ開発委  
員会は、委員長から委員を推薦いただき、理事が任命し  
た。 承認

【第3号議案】第18回西日本区大会ホストクラブ及び  
開催地について

議案提案者 次期理事 松本武彦

ホストは大阪なかのしまクラブ、大阪西クラブ。コホスト  
は大阪クラブ、大阪土佐堀クラブ、大阪千里クラブ、大阪  
高槻クラブ、大阪センテナリアルクラブ、大阪茨木クラブ、  
大阪セントラルクラブ 以上7クラブ。開催場所はハイ  
アットリージェンシー大阪 承認

YMCAの歌

閉会挨拶・閉会点鐘 理事 高瀬稔彦

### 編集後記

大変遅れましたが、1号を発行することができました。ワイズを愛する各セクションの代表が西日本区発展を願い執筆されています。また、特別に第1回西日本区岡山大会から理事引継式の立会人の重責を担ってこられた森田恵三ワイズが、第16回西日本区名古屋大会から吉本貞一郎ワイズに立会人をバトンタッチされました。同じく西日本区発足から西日本区事務職員として働いてこられた北村久美子さんが定年退職されるのが報告されました。お二人に特別寄稿をよせていただきました。長年に亘るご奉仕に心より感謝申し上げます。

残念なことに西中国部長山野進ワイズが一身上の都合により退会されましたので原稿は割愛させていただきました。

#### 【区報編集委員会】

委員長 三浦克文(岡山)

委員 蔵知武(岡山)

委員 森本榮三(大阪高槻)

委員 益国隆人(広島)

委員 渡邊悦司(呉)

# 西日本区現勢

2013年7月1日現在

部	クラブ名	2013.7.1	2013.1.1	2012.7.1	増減
中部	金 沢	8	8	10	-2
	名 古 屋	27	28	27	0
	名古屋東海	18	20	20	-2
	名古屋南山	10	9	9	1
	四 日 市	30	29	27	3
	名古屋プラザ	8	9	9	-1
	名古屋グランパス	14	13	14	0
	津	5	5	6	-1
	金沢犀川	6	6	6	0
小 計	9	126	127	128	-2
びわこ部	近江八幡	20	19	19	1
	彦 根	10	10	10	0
	彦根シャトー	26	28	29	-3
	長 浜	41	43	41	0
	草 津	17	17	17	0
	滋賀蒲生野	19	18	20	-1
	大 津	6	11	11	-5
小 計	7	139	146	147	-8
京都部	京 都	30	30	31	-1
	福 知 山	7	7	7	0
	京都パレス	66	70	70	-4
	京都ウエスト	29	28	26	3
	京都めいぷる	25	26	27	-2
	京都キャピタル	41	39	40	1
	京都プリンス	17	17	16	1
	京都センチュリー	10	10	10	0
	京都ウイング	42	42	39	3
	京都洛中	16	16	16	0
	京都エイブル	16	17	16	0
	京都グローバル	58	61	59	-1
	京都みやび	15	16	19	-4
	京都トップス	44	42	40	4
	京都トゥービー	31	30	31	0
	京都東稜	17	17	18	-1
	京都ウエル	4	5	5	-1
京都ZERO	23	25	24	-1	
小 計	18	491	498	494	-3
阪和部	田 辺	-	7	7	-7
	和 歌 山	20	21	21	-1
	奈 良	24	23	23	1
	大阪サウス	25	25	25	0
	大阪堺	10	11	9	1
	大阪河内	17	19	19	-2
	大阪長野	7	7	8	-1
	大阪泉北	13	13	13	0
	和歌山紀の川	15	15	14	1
	小 計	9	131	139	139

部	クラブ名	2013.7.1	2013.1.1	2012.7.1	増減
中西部	大 阪	18	18	17	1
	大阪土佐堀	22	18	19	3
	大阪千里	4	5	5	-1
	大阪高槻	21	21	21	0
	大阪センテニアル	18	20	21	-3
	大 阪 西	15	16	15	0
	大阪茨木	18	17	17	1
	大阪セントラル	9	10	11	-2
	大阪なかのしま	17	18	18	-1
	小 計	7	142	143	144
六甲部	神 戸	19	19	21	-2
	西 宮	23	23	23	0
	神 戸 西	13	14	12	1
	神戸ポート	18	18	19	-1
	宝 塚	24	24	25	-1
	さ ん だ	15	17	17	-2
	神戸学園都市	17	19	18	-1
	芦 屋	16	17	17	-1
小 計	8	145	151	152	-7
瀬戸山陰部	姫 路	9	8	8	1
	岡 山	31	33	33	-2
	鳥 取	17	17	14	3
	姫路グローバル	14	14	14	0
	米 子	13	14	14	-1
小 計	5	84	86	83	1
西中国部	広 島	26	25	22	4
	福 山	3	6	6	-3
	呉	13	12	10	3
	東 広 島	9	8	8	1
	岩 国	11	13	13	-2
	広 島 西	9	7	8	1
	岩国みなみ	21	21	21	0
小 計	7	92	92	88	4
九州部	長 崎	6	6	6	0
	熊 本	31	32	32	-1
	北 九 州	11	11	10	1
	福岡中央	14	14	16	-2
	熊本ジェーンズ	32	33	34	-2
	博多オーシャン	15	15	14	1
	八 代	8	8	8	0
	鹿 児 島	11	12	12	-1
	熊本むさし	19	20	20	-1
	熊本みなみ	23	22	22	1
	宮 崎	9	7	9	0
	熊本ひがし	21	19	21	0
	阿 蘇	18	17	17	1
熊本にし	23	26	26	-3	
熊本ヤング	13	12	12	1	
小 計	15	254	254	259	-5
合 計	87	1604	1,638	1,634	-30

(連絡主事を含み、特別メネットは除く)

増減は前期7月1日との比較

# 第17回西日本区大会

ワイズメンズクラブ国際協会

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2014年6月14日(土)・15日(日)

大会会場 シンフォニアいわくに



い  
わ  
く  
に  
W  
A  
K  
U  
W  
A  
K  
U

未来への架け橋



ホストクラブ: 岩国クラブ・岩国みなみクラブ

協力クラブ: 広島クラブ・福山クラブ・呉クラブ・東広島クラブ・広島西クラブ





# もくじ

志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましよう	理事 高瀬 稔彦	1
ごあいさつ		
こころ豊かに	次期理事 松本 武彦	4
新しい時代の幕開け	直前理事 浅岡 徹夫	4
新しい出会いと学びでV字復活!	書記 益国 隆人	4
「正確、迅速、ベストを尽くす」をモットーに	会計 山本 晶子	5
いざ立て-Once more we stand	東日本区理事 渡辺喜代美	6
西日本区行政監事を留任-2年目に思う事	行政監事 仁科 保雄	6
財政の健全化とは?	財政監事 鈴木 誠也	7
ワイズメンズクラブ国際協会から		
西日本区ワイズの皆さんへ	国際会長 Poul V. Thomsen	8
西日本区ワイズの皆さんへ	国際書記長 西村 隆夫	8
日本YMCA同盟から		
ユースに希望を!-ワイズとYMCAの強い連帯で	日本YMCA同盟総主事 島田 茂	9
YMCAのストーリーを見つける	日本YMCA同盟連絡主事 山根 一毅	9
事業主任の方針		
YMCAサービス・ユース事業主任としての誓い	Yサ・ユース事業主任 正野 忠之	11
3つのT	地域奉仕・環境事業主任 生雲 文枝	11
楽しいクラブに人は集まる	EMC事業主任 為国 光俊	12
あなたもわたしも 世界の一人	ファンド事業主任 長壽 和子	13
繋がれば仲間は増える	交流事業主任 上村真智子	14
情報を共有し、人のつながりを強めよう!	広報事業主任 加藤 信一	15
感動をわかちあいましょ!	メネット事業主任 谷本久美子	15
部長メッセージ		
長所を活かして生き生きと!	中部部長 平口 哲夫	17
びわこ7クラブは強い絆で結ばれている	びわこ部部长 川瀬 勝彦	18
京都全クラブの力を繋げて発展	京都部部长 桂 厚子	18
行動するときそれは今でしょ!	阪和部部长 飯沼 眞	19
初志貫徹	中西部部部长 塚 理	20
“Sweet”な六甲部へ	六甲部部长 山田 滋己	20
出来ることに心を込めて全力で	瀬戸山陰部部长 前田 文夫	21
ワイズ20年の楽しみ	九州部部长 入佐 孝三	21
西日本区理事引継式立会人の大任を終えて	森田 惠三	23
事務職員としての16年	西日本区事務所 北村久美子	24
常置・特別委員長からのメッセージ		
JWFを今一度考えよう	JWF管理委員長 仁科 保雄	25
未来を担うワイズ活動はやはり自己研鑽から	ワイズリーダーシップ開発委員長 藤井 久子	25
西日本区ホームページの更なる活性化に挑む!	情報委員長 吉村 秀喜	26
折り返し点	組織検討・安全対策委員長 乙坂 優次	26
クリスチャニティー(特別)委員会の今期の活動は?	クリスチャニティー特別委員長 田上 正	27
ワイズメンズワールド翻訳委員会(専任委員)の委員長を交替するに際して	ワイズメンズワールド翻訳編集委員長 野村 秋博	28
スピーディーに情報の伝達	理事事務局 渡邊 悦司	28
各部で考える、各部で行動する新体制2000推進チームへ	西日本区2000推進チーム委員長 大岩 英人	28
西日本区17期のスタートにあたって	ヒストリアン・文献保存委員長 大槻 信二	29
ご苦労さん、ありがとう を声に	区報編集委員長 三浦 克文	30
事業委員会再編の報告		31
2013~2014年度西日本区強調月間リスト		33
西日本区事務所及び理事事務局業務役割		34
西日本区第1回準備役員会議事録		35
西日本区第2回準備役員会議事録		37
西日本区現勢		38

## ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理事事務局 / 〒732-0068 広島市東区牛田新町3-5-3

TEL 082-229-8464 FAX 082-229-8477

E-mail : 2013e.watanabe@gmail.com

西日本区事務所 / 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-5-4 (榊新上野ビル3F)

TEL 06-4805-0570 FAX 06-4805-0571

E-mail : info@ys-west.or.jp